

Puš-i 押す, 衝く, 推しやる
「プーシ」プシと尻押す奴が現はれて
ヘグレ神社を邪神が祭る

Put-o 井戸
おうプート(おうと)お井戸(尻)の穴から吹き
出だす, 科戸_ドの風のいと臭きかな

Putor-o 〔動〕臭猫
はプートロ(お取らう)と草に潜みて臭猫が
いとも神妙に窺ひ居るかな

Putr-i 腐る, 腐敗す, 朽つ
溺死者の身体見れば恐しや
太鼓のやうにプートリ(太り)腐る

R

Rab-i 奪ふ, 強奪す
わラービ(蕨)狩り突然千々岩現はれて
川島浪子の心胆を奪ふ

Rabarb-o 〔植〕大黃_ヲ
はラバルボ(腹張る坊)の胃病を癒さんと
大黃末_ヲを服用せしむる

Rabat-i 値引きす
あラバーティ(新鉢)まだ其儘の代物_ヲを
値引きするのは真平御免

Raben-o 〔宗〕夫子, 先生(猶太講法博士尊称)
わラバーノ(童の)智能を啓発するために
孔夫子の道を教ゆる先生

Rabi-o 〔医〕狂犬病, 恐水病
飼犬が狂犬病に罹りしか
人を見る度荒ラビーオ(らび雄)たけぶ

Rabot-i 鉋にて削る
桧のはしラ(柱)ボーティ(ぼてい)ぼていと
棟梁が, 鉋にて削る大宮普_ヲ請_シ

Raci-o 〔哲〕理性, 弁理力
人情に浅く理性に富む人は
何事もよくラツィオ(埒を)つける

Racionalism-o 唯理論
唯理論エス語で之をラツィオナリ_{スモ}
(良智王なり角力)取つてる唯神論者と

Racionalist-o 唯理論者
唯理論者をラツィオナリ_{スト}(良智王成主人)と
エス語言ふ, 去れど中々埒あかぬ現代

Rad-o 車輪, 車
行列の車輪の音の聞えてゆ
うラード(裏戸)開けて覗き見る下女

Radi-o (一)光線, (理)輻射線, 放射線,
(二)輻(車の), (三)幾半径
万病に効_キくとふラディーオ(ラヂオ)シンターは
呑めば腹中光線が刺す

Radik-o (一)根, 根本(二)〔数〕根, (三)〔文〕語根
信ずるに足ラディーコ(らじ小_ヲ)北の根なし草
根本からして邪神の教(靈界物語参照)

Radikal-a (一)根本の, 根源の
(二)過激の, 急進的の
根本のあラディカーら(荒力)無い癖に
いつも過激の言辭を弄する

Rafan-o 〔植〕だいこん
だいこんの皮膚の如きしラファーノ(白歯の)
美人と見れば入歯なりけり

Rafin-i 精製す, 精煉す, 醇化す
海_ヲ藻_ヲ草_ヲあラフィーニ(洗ひに)洗ひ臼に搗き
冬の霜夜に寒天精製す

- Raj-o 〔魚〕雁木えひ
今夜かラーヨ(ら夜)漁に出でて海底の
雁木えひ捕る準備に懸らむ
- Rajd-i 乗りて行く(馬などに), 騎す
落ライダー(雷で)友の家危急と聞きしより
見舞の為に馬に乗りて行く
- Rajt-o 権利
権利義務などの法理に暗ライト(らいと)
法治国には立つて行けない
- Raket-o ㄱ)狼煙, 打上花火,
ㄴ)ラケット(ローンテニスの)
そラケット(ら京都)変事があるに違ひない
伏見の山に狼煙が上る
- Rakont-o 物語
筆録者ラ(等)コント(根と)智力を発揮して
一句漏らさず物語記す
- Ramn-o 〔植〕鼠李^{조지}属
英雄の児ラミノ(等無能)の者ばかり
鼠李属のやうな小胆
- Ramp-i 這ふ, 匍匐す, 爬行す
ラムピ(濫費)をば節する為と禿老爺
夜な夜な下女の〇〇に這ふ
- Ran-o 〔動〕蛙
うラーノ(裏の)田に蛙の奴が丸裸
跣足の儘でガアガアと鳴く
- Ranc-a わる臭き(脂肪牛酪などの)
牛酪や脂肪の腐ラツァ(うんと)するものは
一入わる臭き匂ひするなり
- Rand-o 辺^가, 縁^{자리}
辺, 縁も半ば破れし伽ラド(藍堂)
雨風の時は心もむなり

- Rang-o 位, 階級, 身分, 上流
貴族院変ランゴ(乱五)爵位記押し
駄弁を弄する上流階級
- Ranunkol-o 〔植〕毛茛^{장강}
毛茛名詞はエスペラント語で
分ラヌンコロ(らぬ功勞)と称呼するなり
- Rap-o 燕菁^갈, 大根
はラーボ(腹布)袋尾張大根天王寺
燕菁のやうに太つて居るなり
- Rapid-a 速き
伝染の速きチブスに悩まされ, はラピーダら
(腹びいだら)だら雪隠へお千度
- Rapir-o 試合刀, 稽古刀
試合刀持つて武術の勝負には
野ばラピーロ(原広)場を取つておくなり
- Raport-i 報告す, 復命す, 報道す
何事に由らず報告する名詞
ラポルティ(等報る字)とぞエス語曰ふなり
- Ras-o 人種, 民族, 種族
人種論いとも盛んに唱導し
敵国の恨み晴ラーソ(うさう)とする
- Rasp-i 擦りへらす, 擦^가す
がラスピん(硝子瓶)欠けら子供が弄び
手水石鉢擦りへらすなり
- Rast-i 搔く(熊手にて), 搔き寄す
熊手にて搔く故松葉沢山に
苔さへ減ラスティ(らす庭)の中まで
- Rat-o 鼠
天井うラート(裏と)表部屋との区別なく
荒れまはりてぞ困らす鼠

Raŭk-a 嘆声^ハの

嘆声の響^ハラ^カ(廊下)に聞えけり
また高姫の来りしなるらん(霊界物語参照)

Raŭp-o 〔昆〕蝶蛾などの幼虫, 毛虫, 青虫, 芋虫
「ラッポ」とは蝶と蛾などの幼虫の
エスペラントの名词なりけり

Rav-i 夢中にす, 心を奪ふ, 恍惚たらしむ, 迷はす
荒^ハラウ^{ヴィ}(らび)たる行為を夢中にする男
是は鹿太郎殺人狂病

Raz-i 剃る, 剃つてやる
頭剃る事は滅多にあ^ハラズ^ィ(らじ)と
覚悟して居た恋の白蓮

Re- 〔接頭〕〔再び, 復た, 元に, 返る〕の義
時節来て再び, 復た, 元に, 返るの義
覚りて喜び神に^レ(礼)言ふ

Reakcio 〔化〕反応, 〔政〕反動, 復古
男子わ^レアツ^ィオー(吾れ悪地位を)復古して
神代に反動, 反応せんかな

Real-a 真の, 実の, 現実の
是^レア^ーら(れ有ら)ば^レ真の経綸が判るだらう
皆^レ現実の神書なりせば

Rebus-o 判じ物, 判じ絵,
判じ物町の角々に出してある
いづ^レブ^ーソ(何れ物騒)な事があるだらう

Recenz-i 新刊書を略評す
^レツ^ェズ^ィ(列円寺)和尚は仏事の暇あれば
新刊書籍を略評してゐる

Recept-o 処方書, 献立書, 仕様書
ドクトルの^レ方書又は御馳走の
献立書をば^レツ^ェト(列栄富登)と曰ふ

Reciprok-a 互の, 相互の, 交互の
お^レ互の^ハと^レツ^ィッ^ロカ(列位富老家)が
合名会社を創立してゐる

Recitativ-o 〔音〕吟誦体
音楽の吟誦体を^レツ^ィタ^ィエ^ーヴ^ォ
(霊地立い坊), しつつ神雄言霊を宣る

Redakci-o 編輯局, 編輯員(全体を曰ふ)
編輯局, 編輯員の全体を, ^レダ^ッツ^ィエ^ーオ
(泥^レ濁対汚)とエス語曰ふなり

Redakt-i (一)編輯す, (二)記述す
^レダ^ッツ^ィ(泥^レ濁智)三文々士が糊口のため
我楽多文章を編輯するなり

Redaktor-o 編輯人, 記者
刊行物の編輯人はおしなべて
^レダ^ット^ーロ(泥^レ濁頭顱)の人物多し

Redukt-i 〔化〕還元す, 〔数〕約す
^レド^ッツ^ィ(泥土食)俺は蚯蚓に還元するよ
算数に合はぬ節約するより

Ref-o 〔海〕縮帆部(帆の), 帆部
真帆片帆^レーフ^ォ(冷風を)受けてバタバタと
翻へりけり縮帆部まで

Referenc-o 参考, 問合, 照会
照会によりて^レフ^ェレ^ッツ^ォ(霊笛連奏)す
参考にせんと問合せつつ

Reformaci-o 〔史〕宗教改革(十六世紀歐洲に於ける)
十六世紀歐洲に於ける宗教の, 改革史をば
^レフ^ォル^マツ^ィエ^ーオ(霊放流魔智汚)と曰ふ

Refut-i 弁駁す, 駁撃す, 抗論す
偏論を根本的に弁駁す
^レフ^ォー^{ティ}(霊富智偉)なる三^ノ五^ノ教主が

- Reg-i 治む, 支配す, 統治す
 治むるも**支配**するのも世の中は
レーギ(礼義)守るを第一となす
- Regal-i 馳走す, 饗応す
 珍客を**馳走**するため和知川に
 大小無数のひ**レガー**り(鰭狩り)をする
- Regent-o 摂政者, 執権者
レゲト(靈頭と)神徳無ければ**摂政者**
執権者とて国民崇めず
- Regiment-o 聯隊
聯隊の兵士は**レギメ**ト(礼儀面倒)と
 思はず厚く上官に仕う
- Region-o 地方, 界限, 部位
 能ふ限り尽せる**レギオー**ノ(礼儀王の)前に
 拝跪してゐる**地方**長官
- Registr-i 登録す, 登記す, 記入す
 死生簿に**レギス**トリ(靈偽巢盜吏)の幽籍を
登録すべく記す守衛等
- Regn-o (一) 国, 国家, (二) 〔博〕界
 露**国**より車夫を**国家**の干城と
レノ(礼遇)の為に年金送り来れり
- Regol-o 〔鳥〕鷓鴣シサヘ
 日暮**レゴ**ーろ(れ頃)庭の繁みに**鷓鴣**
 宿を求めてチョンチョンと鳴く
- Regul-o 規則, 正規, 法則
 神界の**規則**に照らさ**レゲー**ろ(れ愚老)は
 恐れて居ると高姫が曰ふ(靈界物語参照)
- Reğ-o 王, 国王
 小糸姫鬼熊別の**レーヂ**。(令嬢)は
 一つ島にて**王**となりけり(靈界物語参照)

- Reğim-o 〔政〕政体, 〔医〕養生法
政体も**養生法**も無き迄に
レヂーモ(靈地も)汚れて乱れし神国
- Reklam-o 広告
 家も田も破**レッラーモ**(れ庫も)売りますと
 家資分散の**広告**をする
- Rekomend-i (一) 推挙す, 推薦す, 薦む
 (二) 書留にす(郵便)
 会長に**推挙**するとて郵便を
書留にす**レコメ**ディ(靈狐面爺)さん
- Rekompenc-i 酬ふ
 神恩に**酬ふ**と思ふ赤心を
 真に**レコムベツ**ィ(靈魂弁知)し給ふ
- Rekord-o 〔運動〕記録キョク
レコード(記録)をエス語学者は「**レコルド**」と
 命名なして国際的に用ふる
- Rekrement-o 粕渣カサ, 紋滓シメ
粕渣野郎**紋滓**野郎が今日も又, 金を呉
レレメト(れ呉れ面倒)な事言つてくる
- Rekrut-o 新兵, 補充兵
 満期終へ放た**レル**ルート(れ来ると)**新兵**も
 郷里に帰り酒色に耽る
- Rekt-a (一) 真直なる, (二) 直接の
真直なる神の教を守りなば
レクタす(靈苦助)くる**直接**の内流
- Rektor-o 大学総長
 心**レクトー**ロ(靈苦頭老)朝夕絶え間なく
 書に眼を曝らす**大学総長**
- Rel-o レール, 軌条
 二筋の**レール**の上を滑り行く
レーろ(玲瓏)玉なす御召しの列車

Relativ-a 相対的, 關係的

相対的, 關係的に無心のみ, 金呉れく
レらティーヴ(れ等痴呆)の徒輩だ

Relief-o 浮彫^{ウキゾリ}, 浮出し, 盛上げ

浮彫の技術は優レリエーフ^ヲ(れり鋭鋒)の
光は靈像の色に見える

Religi-o 宗教

宗教の教義ゆ優レリギーオ(れり義意を)説く
三^ミ五^イ教の靈妙の法

Rem-i 漕ぐ

漕ぐ船のやつレーミ(れ見)えけり雨風に
曝され腹は筋斗りにて

Rembur-i 詰め込む(毛藁などを)

毛藁など詰め込む夜具に横臥して
レムプーリ(恋風裏)中に悩む肺病

Rempar-o 〔軍〕城壁, 堡壘

城壁に続くレムパーロ(練馬路)をしとんと
進む騎^キ士^シの勇ましきかな

Ren-o 〔解〕腎臓

またレーノ(例の)腎臓炎が続発し
医者よ薬よと狼^ヲ狽^ダえまはる

Rendevu-o 会合, 会見, 出会

世を忍び会合してる団体を, レンデヴーオ
(恋泥無迂殃)とエス語曰ふなり

Renesanc-o 〔史〕文芸復興

文芸復興こレネサツ^ヲ(古例寝さぬと)
史学者が, 朝夕眼を書史ゆ放さず

Renkont-i 行き合ふ, 出遇ふ

三^ミ五^イの教^ノの信^ノ徒^ノ幽齋場
レコンティ(鍊魂地)の庭に行き合ふ

Rent-o 歳入(財産より生ずる), 地代, 小作料, 家賃等

歳入を殖し呉レント(れんと)小作料
家賃を上げる人鬼の奴

Renvers-i ひっくりかへす, 転覆さす

レ^ンヴ^{ェル}ス^イ(練武選る師)弟子を手玉に
取り乍ら, ひっくりかへす植芝守高

Repertuar-o 目録, 名簿

何レペルト^アー^ロ(れ減るどうあらう)共目録は
規則通りに書きあげて置く

Reprezent-i 代表す, 代理す

あらレ^レゼ^ンティ(霰降れ前庭)
の松枝繁く, 天然傘を代表するかな

Reputaci-o 評判, 世評, 名声, 令名

名声と評判は是レ^レプ^タツ^ツー^オ(れ二つ意を)
合む様だが矢張り同一

Respekt-i 尊敬す, 敬意を表す

三^ミ五^イのレ^レペ^ッティ(靈主日榮九地位)を
親となし, 師匠となして尊敬するかな

Respektiv-a それぞれの

それぞれの狂言の業晴レ^レペ^ッティ^ーヴ^ッ(れすべ
く爺婆ア)が, 祝賀の宴に趣向を凝らせり

Respond-i (一)答ふ, (二)相応す,

相当す, (三)責任を負ふ
レ^レポ^ンディ(靈主本地偉)問ひにも
答ふ, 相応する, 御魂鎮めの責任を負ふ

Respublik-o 共和国

共和国大統領はレ^レプ^リー^コ(靈主風夫利巧)
度量なければ選挙せられず

Rest-i (一)留まる, 常にあり,

静止してあり, (二)余る
レ^レティ(靈主帝)高天原に神留まる
世界に余る神徳もちて

Restoraci-o 飲食店, 料理店

レストラツィーオ(隸司虎智威を)籍りて
飲食店に入り, 肩肱怒らし覇張る醜さ

Ret-o 網

網持ちて来たレート(れと)漁師叫びつゝ
鯛魚の群れを監視してゐる

Retin-o 〔解〕網膜

網膜の病症全く平癒して
嬉レティーノ(嬉しいの)んで薬礼をはづむ

Retor-o 弁舌家

演壇に立ちて天晴レトーロ(れ頭領)が
所謂弁舌家をも屁古ます

Retorik-o 修辞学

レトリーコ(例と理意考)修辞学をば
エス語にて, 称呼しながら使用してゐる

Retort-o 〔化〕レトルト(蒸溜用の曲頸瓶)

レトルトは蒸溜用の曲頸瓶
エスペラントで「レトルト」と言ふ

Reūmatism-o リューマチス

リューマチスエスペラントは「レُمَّティスモ」と
「う」を「お」に代えて通用さすなり

Rev-i 空想す, 夢想す, 幻想す

レーヴィ(麗美)なる天国浄土を窺へば
空想するより一入優れる

Revelaci-o 天啓, 啓示, 黙示

天啓のレヴェらツィーオ(靈富榮良地位を)
得てしより, 聖者となりて黙示, 啓示す

Revizi-i 検閲す, 検査す, 校正す

予言者のレヴィズィーイ(靈否随異)を疑ひて
法官審さに検査するなり

Revizor-o 検査官, 檢察官

性質悪しきレヴィゾーロ(靈非僧侶)の醜行を
檢察官が検査して居る

Revoluci-o 革命

革命はレヴるツィーオ(隸坊留壁横)根底より
建直し行く行動なりけり

Revolver-o 回転拳銃

現代の回転拳銃エス語にて
レヴるヴェーロ(例暴流米露)と称呼するなり

Revu-o 雑誌, 時事誌

時事誌, 雑誌その売レヴーオ(れ部を)月々に
調査なしつつ経営をする

Rezed-o 〔植〕木犀草

木犀草名詞はエスペラント語で
レゼード(靈是蔵)とこそ称呼せらるゝ

Rezerv-i 取り置く, のけ置く,

留保す, 予備とす, 貯蔵す
レゼルヴィ(麗贅流美)神の教を信じてゆ
捨つるも惜しく倉に取り置く

Rezign-i 辞職す, 棄権す, 諦む

代議士選挙は何レズィニ(れ随愚に)
終るとて, 棄権するあり辞職するあり

Rezignaci-o 辞職, 棄権, 諦め

代議士は何レズィナツィーオ(れ随愚な地位を)
免れねば, 諦めすまして辞職, 棄権す

Rezin-o やに, 樹脂

松桧杉の木のやに査おれば
皆レズィーノ(靈水の)雫なりけり

Rezist-i 抵抗す

仲裁も入レズィスティぶる(れず椅子卓子)を
無暗に投げ付け抵抗する馬鹿

Rezon-i (一) 論ず, 論究す, 推理す, (二) 理由を説く
レゾーニ(霊像に)向ひ**理由を説く**法師
 仏意を**論ず**信徒の前に

Rezult-i 結果を來たす
 何々の**結果を來たす**恐れあ**レ**(れ)
ズ・ティ(実地)の踏査未だ出来ねば

Rezultat-o 結果, 効果, 成績
 「**レズ・タート**」かへして読んだ其**結果**
 「トータルズレ」となるぞ可笑しき

Rib-o 〔植〕あかすぐり, リベス
 「**リーボ**」とは日本植物**あかすぐり**
 その実物を瑞月は知らず

Ribel-i 叛乱す, 叛く
ベリベーリ(リベリ)と襖や軸をかみ破ぶり
 叛乱するなり夜の鼠奴

Ricev-i 受く, 受取る
リツェーヴィ(利杖美)服をば**受くる**権右衛門
 古稀の祝ひの後と前とに

Ricin-o 〔植〕蓖麻ヒマ属
蓖麻属を産婦に服用さす時は
リツィーノ(理智)の勝つた子供生るゝ

Riê-a 富める, 裕福の, 潤沢の
富めるものも時に由**リーチ**(りては)貧人の
 救ひ求めにやならぬことあり

Rid-i 笑ふ
 ども**リーディ**(吃で)名画をかいた又平を
 笑ふ馬鹿者世には勤い

Rif-o 暗礁
 大船のあやつ**リーフ**(り法)を覚りなば
 暗礁に悩む心配もなし

Rifuğ-i 隠る, 避難す, 逃込む
リフーヂン(理不尽)な借金取りの声聞いて
 留守を使つて奥に**隠るゝ**

Rifuz-i 拒む, 謝絶す, 断る
 遙々と尋ね來たりし貧友の
 面会拒む**リフーズィン**(理不尽)な奴

Rigard-i 視る, 眺む, 注目す, 注視す
 借**リガルディ**(借りがある爺)の門口覗き**視る**
 途中で会ふかと**注目する**かな

Rigid-a 硬き, 強直の, 曲らぬ
リギーダ(理義だ)に知らぬ男が**硬き**こと
 口先ばかり言ふぞ可笑しき

Rigl-i 門カドにて閉す
 や**リーリ**(やりくり)の最中なれば債鬼をば
 避けて門をば門にて閉す

Rigor-a 厳格な, 苛酷な
厳格な, 苛酷な税**リ**(吏)**ゴーラ**(ごら)ごらと
 数多出張りて家中を探る

Rikan-i 冷笑す, 嘲笑す
 亜米**リカーニ**(利加に)日本はいつも譲歩すると
 支那**嘲笑す**列国**冷笑す**

Rikolt-i 刈入る, 刈取る, 収穫す
 晩稻を**刈入る**頃は雪來た**リ**(り)
コ・ティ(氷る庭)前は見る影も無し

Rilat-i 關係す, 關聯す
關係する会社の権**リ**(利)**らーティ**(埒)良く
 人に譲つて老後を楽しむ

Rim-o 〔詩〕押韻
 主義よ**リーモ**(りも)凡ての詩歌は**押韻**の
 整ひたるを最勝となす

Rimark-i 気付く, 認む

渡り切り**リマルキ**(り丸き)橋をかへりみて
危険迫りて居たるに**気付く**

Rimed-o 手段, 方法, 策

借金を免るゝ**手段**と吾ひと**リ**(一人)
メード(冥土)の旅を企つる馬鹿

Rimen-o 革紐, 革帯, [機] 調革

変**リメーノ**(り目の)世の中なれば**革紐**の
用意しておけまさかの時の

Ring-o 環, 輪, 指環

艶の良き**リッゴ**(林檎)の如く見ゆる哉
環や**指環**の円き姿は

Rinocer-o [動] 犀

犀の角煎じて飲めば熱去ると
隣**リノツェーロ**(りの杖老)翁教へて呉れる

Rip-o (一)〔解〕肋骨

(二)肋骨状物(葉肋, 翅脈, 洋傘の骨, 肋材, 格縁等)
角力取**リーボン**(りボン)と折れたる**肋骨**を
治さんとして整骨医招く

Ripar-i 修繕す, なほす

ば**リパーリ**(パリパリ)と鼠の噛んだ什器類
塗師屋に命じ**修繕**する妻

Ripet-i 繰返す, 再びす, 繰返し言ふ

世の中は**繰返す**な**リペーティ**(り頁)ペーヂと
古き歴史で今の世見れば

Ripoz-i 休息す, 憩ふ

真夜中にふた**リポーズ**(り房事)した朝は
業務**休息**するものぞかし

Riproç-i 叱る, 咎む, 非難す

リッローチ(理不漏智)天保銭奴と禿老爺
息子の馬鹿を叱る可笑しさ

Risk-i 危険を冒す, 賭す

巾著切り**リスキ**(り隙)をねらつて金を奪り
危険を冒す人の憐れさ

Rism-o 一嘩(印刷紙五百枚)

新聞紙**一嘩**ばかり使用しぬ
はや**リスキモ**(流行角力)の号外刷つて

Risort-o ばね, 発条

余**リソルト**(り反ると)後へひつくり返ります
この人力車**ばね**が強いで

Rit-o 儀典, 儀式

確**か****リート**(りと)**儀式**を習ひ名を得んと
古実家**儀典**を研究するなり

Ritm-o 音律, 律(長短, 抑揚, 平仄等の), 拍節

音律は揃ひた**リトモ**(りとも)何処やらに
物足らぬなり婆の奏楽

River-o 川, 河

簾の川のほと**リヴェーロ**(りベロ)ペロ舌を出し
泳ぎ行くかも八岐の大蛇

Riverenc-i 敬礼す

朝夕に神の御前に**敬礼**す
リヴェレンツィ(理歩榮廉耻)悟る信_徒

Riz-o 米, 稻

今年の**米**の稔**リーゾ**(りぞ)豊ならん
稲田の波の清くありせば

Rob-o 洋服, 定服, 式服

ローボ(路傍)を御通過ありと官民が
法服, **式服**着けて拝観す

Rod-o 港湾, 錨地

ロード(艫道)具並べて数多の帆船が
集り来たる**港湾**の中

Rojalism-o 尊王主義

尊王主義宣伝ひロヤリ^モ(広ろ行り数も)
沢山殖えた同感者かな

Rojalist-o 尊王家, 王党员

尊王家世間に広ロヤ(ろいア)リ^{スト}ートル
(アリストテレス), 哲学論を甚^イたく嫌忌す

Rok-o 岩

ローコ(牢固)たる動かぬ重み持つものは
千引の岩に如くものなし

Rokok-o 〔建〕ロココ式

ロコーコ(牢固行)建築成りて祭主又
大工等上棟式に奉仕す

Rol-o 〔劇〕役, 役目, 任務

ローろ(浪々)の果は役者となり下り
嫌な役目も泣いて勤める

Roman-o 伝奇小説, 稗史

露西亜国ロマーノ家族の惨めさは
伝奇小説よりも数奇なりけり

Romanc-o 恋歌, 哀歌

恋歌, 哀歌読めるを聴きて白ロマ^{ンツ}ォ(饅頭)
黒饅頭もふくれふくれる

Romantik-o 浪漫主義

浪漫主義「ロマ^{ンティ}ーコ」と青年が
朝夕心を燃やす春なり

Romb-o 〔幾〕菱形, 斜方形

菱形の眼をむいて居るくロ^ボ (黒^ん坊)
夜具の袖なす厚き唇

Romp-i 壊す, 毀つ, 砕く, 破る

ロ^ピ (労務日)を俄に休み労働者
制規を破る風俗を壊す

Rond-o 〔一〕円, 円形, 円周, 〔二〕一団, 社会
円満に誠の道をロ^{ンド} (論導)する
或る一団を三^五を教と曰ふ

Ronk-i 駢をかく

震災の真最中に悠々と
駢をかくは無ロ^{ンキ} (論氣)違ひ

Ros-o 露

玉露の宿れる野辺の草分けて
杖つきながらロー^ン (老僧)行くなり

Rosmaren-o 〔動〕海象^マ

海象をエスペラントの名词では
ロ^ママーロ (獵狩魔象)と称呼するなり

Rosmaren-o 〔植〕迷迭香^マ

吹きおロ^ママレーノ(下す馬^マ来^マの)山の涼風に
つれて匂ひ来ぬ迷迭香の花

Rost-i 〔一〕やく, 焙る, 〔二〕〔冶金〕煅焼す

ロ^スティ (露助)奴ニコライエフスクの邦人を
取り囲みつゝ無惨にもやく

Rostr-o 〔一〕〔動〕鼻(象類の), 〔二〕吸嘴(昆虫

などの) 〔三〕吻状突起
象類の鼻や昆虫の吸嘴を
ロ^{スト}ロ (露波^ス頭^ロ)とエス語曰ふなり

Rot-o 〔軍〕中隊

玄武門登ロー^ト (ろうと)して中隊長と
原田重吉敵弾に倒る

Rotond-o 円形建築

まロ^トド (円ろと運動)恰好よきやう円形の
建築したり青年会場

Roz-o 〔一〕〔植〕薔薇(花)

〔二〕〔建〕菊形飾, 菊形窓飾
薔薇の花薫りも高く美はしく
いロー^ゾ (色ぞ)妙なる庭の籬^サに

Rozario 〔羅馬教〕珠数, 念珠
 〓 **ロザリーオ**(黒砂利を)もちて作りし如く見ゆ
 羅馬教僧侶の手に持つ**珠数**は

Rub-o 屑, かけら, がらくた, こはれ
 蛸坊主, 厄介坊主は僧の**屑**
 又の名**ルーボ**(流迂坊)と曰つて蔑すむ

Ruband-o リボン, 紐
 リボンをば若い男が買ひに来る
 是れ見**ルバド**(る番頭)舌を出してる

Ruben-o 〔鉾〕紅玉, ルビー
 紅玉の帯締捲いて出る花見
 何処もは**ルベノ**(春辺の)光満ちぬる

Rubl-o ルーブル(露西亜貨幣凡一円)
ルーブルは露西亜の凡一円ぞ
 エス語は之を「**ルーッろ**」と曰ふ

Rubrik-o 欄, 標題, 朱書
 欄, 朱書, 標題等を新聞紙に
 刷**ルッリーコ**(る鉞力)の板で高低を補ふ

Rubus-o 〔植〕懸鉤木トゲクサ
 衣カか**ルブソ**(る物騒)な山道心せよ
 懸鉤木の株繁りてあれば

Ruġ-a 赤き
 最モトうは**ルーヂ**(春ぢや)赤き花の木遠近に
 蕾の唇開き初めてる

Ruin-o 〓荒跡, 廢墟, 墟れ家,
 〓破滅, 零落, 瓦解
ルイーノ(類の)無い地震の荒跡, 破滅せし
 都を見れば涙こぼるゝ

Rukt-i 噁氣オビを出す
 わ**ルッティ**(悪口)を言つてる奴があるだらう
 嬢が頻りに噁氣オビを出すも

Rul-i 〓転がす, 〓ロールをかける,
 〓円める, 捲く, 〓〔海〕横揺す
ルーリ(瑠璃)の玉**転がす**様な美しい声で
 義太夫うなる春子太夫さん

Rum-o ラム酒
 よ**ルーモ**ひ**ルーモ**(夜も昼も)**ラム酒**ばかりを
 飲んでゐる, やがて中風に悩むなるらむ

Rust-o 錆サシ
ルスト(留守と)のみ思ひ忍んで入り見れば
 主人が居たので錆刀抜く

Rut-o 〔植〕芸香ウグヒスミ
 バハイ教**ルート**女史こそ**芸香**に
 優る尊き匂ひある人

Rutin-o 旧習, 旧慣, 経験のみの知識, 不進歩
 旧習を打破す**ルティ**ーノ(する底の)勇あらば
 進み行く世に落伍せざらん

Ruz-o 狡猾, 奸黠, 詐略
 狡猾な奴は群衆に交はりて
 平素の敵をなぐ**ルーズ**(るぞ)憎き

S

Sabat-o 土曜日
 土曜日の午後より漁船雇ひ入れ
 天保山沖で**サバート**(鯖獲)るなり

Sabl-o 砂
 大オホ己ニは貴キ神の教へし靈泉の
 砂より湧くを**サーッろ**(砂風呂)と言ふ

Sabr-o サーベル, 刀
 サーベルが行く先々に付き纏ふ
 危険と見られし下田**サーッロ**(三郎)

Sacerdot-o 〔鉦〕司祭

ゑらい音**サツ**^{エル}**ドート**(さしてると)群集が
太鼓叩^ヒひて**司祭**に従ふ

Safiro 〔鉦〕青玉, サファイヤ

青玉は麻^マ邇^ニの宝珠の一つなれば
幾年経るも**サフーロ**(鏜ろう)とせず

Safran-o 〔-)〕鬱金粉, (サフランより製せる)

〔-)〕**サフラン**
サフランを以て製せる**鬱金粉**を
「**サラーノ**」とエス語曰ふなり

Sag-o 矢, 箭

高**サーゴ**(砂)の沖に浮べる神島は
矢竹の茂る名所なりけり

Sagac-a 伶俐なる, 慧敏なる, 悟りの速き

サガーツ(佐賀といふ)男は伶俐なるを以て
神の出口の字知麿とする

Sagu-o 莎麩^サ(澱粉)

莎麩造る田に白々と花**サゲーオ**(咲くを)
田吾作待てり澱粉造ると

Sag-o 聰明, 明智

サーヂ(さあ嬢)様参りませうと**聡明**な
姥が氣転で観音へ行く

Sak-o 袋, 囊

陸^リ奥^ウの安達ヶ原の鬼婆は
娘の児**袋サーコ**(裂かう)とぞする

Sakr-o 〔解〕薦骨

薦骨のあたり痛さによく見れば
色あ**サロ**い(あさ黒い)根太出来てゐる

Sakrament-o 〔宗〕聖礼, 聖餐礼

宗教の**聖礼**及び**聖餐礼**を
サッラメント(佐倉面倒)とエス語にて曰ふ

Sakristi-o 〔宗〕聖器納室

宗教用**聖器納室**に忍び入り, 泥棒**サルリテーオ**
(探り捨て衣を)宝と思ひ持ち去りにけり

Sal-o 食塩, 〔化〕塩

塩釜の神社の風光に憧憬れて
何時**サーロ**(去らう)ともせざる旅人

Salajr-o 俸給, 給料

俸給を倍加されたる腰弁が
サラロ(新ら色)涼しき洋服を着る

Salamandr-o 〔動〕蟻蛭^イ

惚れ**蟻蛭**の黒焼振りかける
サラマンロ(新マント泥)の男と知らずに

Salat-o サラダ(生菜料理)

サラダとは生菜料理した御馳走
舌障りさへ**サラート**(サラット)してゐる

Sald-o 〔商〕差引残高

掛取りが**差引残高**受取りて
いそいそ商店**サド**(去る道)具屋

Salik-o 〔植〕楊柳属, 柳

糸柳し**サリーコ**(枝^シ垂^リ子)子供がぶら下がり
春の遊びを川端にする

Saliv-o 唾液, つば

吝嗇家腐**サリーヴ**(さり棒)鯖喰ひ過ごし
氣持悪さに**唾液**吐き散らす

Salm-o 〔魚〕鮭

登り詰め**サモ**(猿も)樹から墜つる如^ニ
捕へられたり和知川の**鮭**

Salon-o 客室, 座敷

氏神の祭典日とてあ**サローノ**(朝老農)
早くも**客室, 座敷**掃くなり

Salpetr-o 硝石

硝石はエスペラントの名詞にて
サペートロ(猿平徒労)と称呼するなり

Salt-i 躍る, 跳ぶ

大阪をサティ(去る知)事が送別会
酒宴の席で躍る, 跳ぶ, 舞ふ

Salut-i 敬礼す, 辞儀す, 挨拶す

転任で大東京をサートティ(去る知)事
内侍所に敬礼するなり

Salv-o 一斉射撃

本陣をサヴォ(距る某)メートルに敵ありと
銃口揃えて一斉射撃す

Salvi-o 〔植〕サルビヤ, ことぢさう

ことぢさう英語の名詞はサルビヤにて
「サヴィーオ」はエス語なりけり

Sam-a 同じき, 同様の

サーマ(さま)さまの人は顔してゐる如く
心の同じきものは少し

Sambuk-o 〔植〕接骨木ニホ

接骨木は解熱剤の随一ぞ
サムブーコ(山風効)の最大妙薬

Samovar-o 湯沸し

春去れど残りの寒サモグーロ(さも婆娑)に
向つて湯沸し茶をすすするなり

San-a 健康なる, 壮健なる

健康なる身をば保つ人はあサーナ(朝な)朝な
冷水浴を怠らぬなり

Sandal-o 鞋, 草履, 雪駄, 靴ツ

鞋, 草履, 雪駄沢山においてある
丹波与作の息子サndero(さんだらう)

Sang-o 血, 血液

血の若いサング(産後)の婦人注意して
芋のずいきを朝夕に食ふ

Sankci-o 認可, 裁可, 批准

サングツィーオ(山区地を)市に併合する出願に
認可与ふる内務当局

Sankt-a 神聖なる

神聖なる神の御前に誠心を
こめて祈ればサングタす(惨苦助)かる

Santal-o 〔植〕梅檀, 白檀

梅檀は二葉の中より芳ばしい
迷子のサントーろ(三太郎)出世するだらう

Sap-o 石鹼

石鹼や白粉チツクに身をやつし
仕事サーポ(さぼ)るなまくら青年

Saldel-o サーデン(鰯イサナ魚の油漬)

「サデーロ」是は鰯魚の油漬
イギリス語ではサーデンと曰ふ

Sark-i 〔農〕草取りす, 除草す

転宅を触れて屋敷の草取りす
老爺はサルキ(去る気)が失せたのだらうか

Sarkasm-o 鋭きいやみ, 酷嘲

サルカスモ(猿が角力)取つた様だとお転婆が
鋭きいやみ漂客に曰ふ

Sarkofag-o 石棺, 石槨

石棺を掘り出し見ればアナ不思議
サルコファーゴ(猿児羽子)板入れてありけり

Sat-a 満腹せる, 食ひ足れる, 飽食せる

満腹せるまだ其上につまみ喰ひ
するとは実にサータ(沙汰)の限りだ

Satan-o 悪魔，魔王

神の道開く真人を世[†]人^ニが
悪魔視するはサターノ(沙汰の)限りよ

Satir-o 諷刺，諷詩，落首

諷刺以て言霊別を救ひ出す (霊界物語参照)
司をサティール(幸牢)番と曰ふ

Satrap-o 州太守(古波斯)，暴主

古への波斯の暴主，州太守
サトラポ(邪虎暴)王とエス語にて呼ぶ

Satur-i 〔化〕飽和せしむ

争鬭は国家の損と皆サトゥーリ(悟り)
大使を派して飽和せしむる

Sauc-o ソース

サツォ(相当)の西洋料理はおしなべて
ソース用ひぬ食品はなし

Sav-i 救ふ

世の人の心のサーヴィ(鎗)を磨き上げ
誠の道に救ふ真人

Scen-o (一)〔劇〕場，(二)景，場面，観物，活劇

場と景は皆演劇に關聯し，エスペラントは
スツェーノ〔そいつ好^ニのう(能)〕と呼ぶ

Scepter-o 笏(王の権標として持ちしもの)

国王の権標として持つ笏を
スツェットロ(主杖武頭老)とエス語呼ぶなり

Sci-i 知つてゐる

何事も皆知つてゐる聖賢を
スツィーイ(須知偉)々々々と尊み敬ふ

Scienc-o (一)科学，(二)学問，学

科学とか学問とかを現代は
スツィエンツォ(須知意遠通)するに努むる

Sciur-o 〔動〕栗鼠^{リス}

栗鼠の名詞エスペラントで称呼して
スツィウーロ(鼠知雨露)と曰ふぞかしこき

Se 〔接〕若し……ならば，……ならば

行つて見て若し〇〇ならば〇〇〇ならば
セいて(急いて)来れと談判をせよ

Seb-o 脂肪(特に反芻獣の)，羊脂，牛脂

牛，山羊の反芻獣の脂肪をば
鮮肉に添へセーボ(歳暮)に贈る

Sed 〔接〕然し，然れども，然しながら

セド(瀬戸)の海黒潮襲ひ来ると曰ふ
然し心配するに及ばず

Seg-i 鋸る

マイストロセーギ(正義)の刃振りかざし
国に背きし奸邪鋸るかな

Segment-o 〔幾〕弓形(円の)

円くなつて場所を余りセグメント(狭ぐめんと)
弓形になつて坐り直せよ

Seg-o 椅子

セーチ(聖上)が椅子にもたれて朝夕に
万機の政事みそなはし坐す

Sek-a 乾きたる，乾燥せる，旱魃の，

乾燥無味の，無愛想の
咽喉が俄に乾きたるセーカ(故^ニか)
水を吞まねば咳が出て来る

Sekal-o 〔植〕裸麦

牛馬のセカーロ(背軽う)軽うと裸麦
運び行くなり夏の田圃路

Sekc-i 截る，断つ，切断す，分割す

三四週間の努力で帰^ニ神^{ガリ}
済まセツィ(せ口)を截る(切る)砂^ニ庭^ニかな

Sekci-o 部, 課, 篇, 章, 節, 派
セツィーオ(性句対意応)正しく示す部と篇と
派とは著作の要義なりけり

Sekreci-i 〔生理〕分泌す
分泌する生理の学語をエス語にて
セクレツィーイ(聖苦靈血移)と称呼するなり

Sekret-a 秘密の, 内証の
神界の秘密の鍵を握りたる
セクレータ(聖九靈多)の真人求む

Sekretari-o 書記, 書記官, 秘書官,
幹事(倶楽部などの)
倶楽部の書記や幹事は殊更に, セレタリーオ
(聖九靈多利応)の材幹が要る

Seks-o 性(男女の別)
セソ(性区素)とは性のエス語の名称ぞ
男女の別を示す言霊

Sekt-o 宗派, 教派, 分派
宗派又は教派の公然独立を
セクト(急くと)必ず不許可と成るべし

Sektor-o 〔幾〕扇形
幾何学上扇形式は六ヶ敷く
心をセクトーロ(急くと徒勞)に終るものぞ

Sekund-o 〔秒〕秒, 〔音〕一音調間
秒間をエス語はセクンド(急く度)と曰ふも
時計の針の一音調間

Sekundant-o 決闘立合人
決闘の立合人をエス語にて
セクダント(勢窘刀)と称呼するなり

Sekur-a 安全の
安全の世界ではない団栗が
セクーラベ(背比べ)してる政党の政治

Sekv-i 〔一〕従ふ, 陪従す, 次いで至る 〔二〕倣ふ
セヴァ(聖九美偉)その神人に神倣ふ
道に従ふ瑞の信徒

Sel-o 鞍
鞍早く馬に着セーロ(せろ)と光秀が
命令下す妙心陣営

Selakt-o 乳清, 乳漿
乳清を嬰兒に吞ませラット(せ略糖)を
与へて成人するを待つ親

Sem-i 播く, 播種す
稲種を播く百姓が田の代へ
セーミ(蟬)の小川の水を引くなり

Semafor-o 信号標, 信号柱
溪と溪のセマフォーロ(狭ま不応路)に信号柱
又信号標は建ててあるなり

Semajn-o 週, 一週間
蒲生野を一週せんと来て見れば
余りセマイノ(狭いの)で茫然とする

Seminari-o 神学校, 僧侶学校
神学校生徒の唱ふる讃美歌に
檜木ノセミナリーオ(蟬鳴りを)鎮める

Sen 〔前〕無く, 無しにして, 有せずして
如何にセン(せん)術なく力なく泣くも
とゞのつまりは神様祈る

Senat-o 元老院, 上院
元老院, 上院などは議論をば
セナート(為など)言つた様にきめてる

Senc-o 〔一〕意味, 意義
〔二〕意識, 分別, 常識, 〔理〕方, 方向
意味や意義判然とした人々は
セツォ(扇頭)を何時も上にしてゐる

- Send-i 送る, 遣はす, 使を送る
皇神の**センディ**(宣示)を以て某方へ
使を送る電信送る
- Sensaci-o 感動, 人気
人気あしき感動強き悪人は
直に挑**センサツィーオ**(戦殺意を)起す
- Sent-i 感ず, 感覚す, …の心地す
センティ(戦地)へ到りて見れば無情をば
感ず〇〇〇の心地す
- Sentenc-o 格言, 金言
古への聖者の作りし格言は
センテツ(先天通)の教なりけり
- Sentimental-a 感傷的, 激情的
感傷的, 激情的なる人々は
センティメッターら(戦地めきたる)行動を取る
- Sep 〔数〕七
七人の敵を案じて寝もやらぬ
セ(拙夫)下郎の夫の留守に
- Sepi-o (一)烏賊
(二)セビア(烏賊の黒汁より製したる顔料)
烏賊の黒汁を以て製せる顔料を
エスペラント語「**セピーオ**」と曰ふ
- Septembr-o 九月
菊薫る九月をエスペラントにて
セプテムプロ(接天風呂)と称呼するなり
- Septet-o 七部合奏
セツテート(敵歩抵当)七部合奏のエス語なれば
門外漢なる我々には判らず
- Seraf-o 〔神〕熾天使
熾天使神の命示を畏みて
セラーフ(聖良法)術を人に授くる

- Serajl-o 宮城, 後宮(トルコ)
セラろ(清良色)の塀を廻らす宮城と
後宮見れば清しき心地す
- Serê-i 捜す, 尋ぬ, 搜索す
強盗が逃げたとあ**セル**チか(せる近)
場所に, 忍ぶならんと**捜す**刑事等
- Seren-a 晴朗の, 静かな, 穏かな
セレーナ(清麗な)静かな秋よ晴朗の
風吹きにつつ紅葉は穏か
- Serenad-o 戸外夜曲(セレナード)
セレナード(声麗な道)具なるらし吾家の
戸外夜曲の若者は誰か
- Serğent-o 〔軍〕軍曹
軍曹が上等兵に殺さ**セル**(せる)
ヂェント(前途)を案じ橘宗一を
- Seri-o 連続, 連鎖, 系, 組
〔電〕直列, 〔化〕列, 〔数〕級数
連続しこの演劇が当る様と
あ**セリーオ**(あせり居)るかな田舎の定席
- Serioz-a 真面目の, 厳肅の, 莊重の
釈迦牟尼は出家を為**セリオーザ**(せり王座)をば
見捨て真面目の仏道に入る
- Serpent-o 〔動〕蛇
白蛇の秘**セルペ**ト(せる弁当)農婆喰ひ
腹がふくれて畸形児を産む
- Serur-o 錠
錠前を外し**セルーロ**(せる牢)の番人が
主義者逃がして免職となる
- Serv-i (一)仕ふ, 奉仕す, 勤務す,
給仕す(二)役に立つ, 用を為す, 資す
役に立つ人を選び分け使用**セル**(せる)
ヴィ(美)人は神の化身と仕ふ

Servic-o 膳立, 食膳, 食器一式
膳立の名詞はエスペラントにて
セルヴィーツオ(セルビー調)と称呼するなり

Servut-o 賦役, 奴役
祝宴に招かれ為セルヴート(せる舞踏)さへ
賦役の一と思ひ勤むる

Ses 〔数〕六
六々に固形食物通過せぬ
セス(スェズ)運河の咽喉が塞がり

Sever-a 〔一〕厳格の, 嚴重の, 苛酷の
〔二〕ひどき, 烈しき
厳格の家庭に生れたセヴェーラ(清兵衛等)の
ひどき墮落をくやむ教祖

Sevrug-o 〔魚〕ほしざめ
ほしざめの味ひ良しと寄り集ひ
呉れとセールーゴ(強要る強)慾もの共

Sezon-o 〔一〕季(四季), 〔二〕時節, 季節
時節, 季(来)て益々現はれ玉ひけり
セゾーノ(世象の)如く神の宣示は

Sfer-o 〔一〕〔幾〕球, 〔二〕範圍
幾何学上球の名詞はスフェーロ(素平路)の
範圍内にて称呼するなり

Sfinks-o 〔希臘神話〕〔一〕獅身女面有翼の怪物
〔二〕獅身人頭の巨像(埃及の)
埃及の獅身人頭の巨像をば
スフィンクス(スフィンクス)とエス語呼ぶなり

Sfinkter-o 〔解〕括約筋
柚酢の味スフィンクテロ(吸ひ食て勞)働の
勞れ休むる田舎の風景

Si 〔代〕それ, 彼自ら(第三人称の主語を反照する再帰代名詞)
彼ス(好い)て吾は居る故彼自らも
それ相当にス(好い)て居るだらう

Sibl-i しゅうしゅう鳴る, しーしー言ふ
久スィブリ(久し振り)櫟割木で釜焚けば
湯気立ち昇りしゅうしゅう鳴るなり

Sid-i 〔一〕腰掛けてゐる, 着席してあり, 座にあり
怪スィデー(しいで)木蔭をそつと窺へば
ベンチに男女が腰掛けてゐる

Sieg-i 〔軍〕包囲す, 攻囲す
敵軍の駐屯箇所を探知して
包囲するなるスィエーヂ(水営陣)をば

Sifilis-o 黴毒バド
黴毒に悩みて手足もスィフリーンソ(麻痺れそう)
歩行も出来ぬ安もの買ひして

Sifon-o サイホン(吸上曲管)
スィフォーノ(水泡の)浮き立つ見ればサイホンの
吸上曲管水吐き出せり

Sigel-i 封印す, 封緘す
指ヲスィゲーリ(具営利)する資産さへ尽き果てゝ
執達吏が諸道具を封印す

Sign-o 印シ, 記号, 符号, 信号, 合図, 兆, 徴候, 形跡
船頭がスィグノ(水具の)印, 兆(調)査して
波上豊かに航海をする

Signal-o 信号, 信号装置, 信号器
信号手忙スィグナール(しくならう)是だけに
汽車の往復度数増しては

Signif-o 意味
身一つ面四つありと言ふ意味は
四面スィグニーフヲ(四国を)表徴するなり

Silab-o 〔文〕綴音, 音節
文法の綴音をばスィラーボ(知らぬ坊)主
大蔵經を棒読みにする

- Silent-i 黙してゐる, 静にしてゐる
 肝腎の経緯^レがスィレ^ティ(知れんで)
 問はれても, 黙してゐるより仕方なきかな
- Silik-o 〔鉱〕燧石, 硅石
 倭姫賊の様子を先にスィリー(知り)
 コころ(心)を籠めし燧石^ヲ授くる
- Silk-o 絹, 絹糸
 絹帽はシルクハットと英語曰ふ
 絹はエス語のスィルコ(糸流公)なりけり
- Silogism-o 三段論法
 弁士等が三段論法まくし立て
 スィろギスモ(粹論議すも)演壇の上
- Siluet-o 側面影画 (カゲエ)
 側面から何事もスィるエート(知る画と)
 鼻高親爺が影画見てゐる
- Silur-o 〔魚〕鯨
 鯨髭生やして官吏威張つてゐる
 道スィる一口(知る老)人フンと笑ふ
- Silvi-o 〔鳥〕籬雀^{マキズ}
 天の下良くスィるヴィーオ(知る日を)祝してか
 籬雀の声も勇まし
- Simbol-o (一)象徴, 表号, (二)(化学)符号,
 (三)(宗)信条
 奸人の企みの象徴見え初めぬ
 私書スィムポーろ(私印曝露)し出してより
- Simetri-o 鈞合, 均齊, 〔幾〕対称
 スィメトリーオ(シメ鶏を)暗夜に鳴かす
 過激武士, 言心行がよくも鈞合ふ
- Simfoni-o 〔音〕合奏楽, 和楽
 仏前に合奏楽をたてまつる
 スィムフオーニーオ(新法尼を)迎へまつりて

- Simi-o 〔動〕猿
 桃の木に山猿数多集りて, キヤツキヤツ
 啼きつゝスィミーオ(酸い実を)喰ふ
- Simil-a 類似の, 同様の, 似寄りたる
 スィミーら(湿み入ら)ない名物煎餅と
 言ひ乍ら, 類似の安菓子ひさぐ商店
- Simpati-o 同情, 同感
 西南の役に死したるスィムパティーオ(新八を)
 薩摩の武士は同情してゐる
- Simpl-a (一)単純の, 単一の, (二)質素の, 簡単な,
 (三)身分なき, ただの
 身分なき, 質素の生涯送る人を
 富者は単純のスィムプら(真浮浪)と言ふ
- Simptom-o 〔医〕徴候, 症状
 症状は昏睡状態持続して
 スィムプトーモ(睡夢とも)徴候は良し
- Sinagog-o 猶太の教会
 スィナゴーゴ(支那語を基)列したとて
 判るものか, まして猶太の教会の教^ヲ
- Sinap-o 芥子菜^{カイ}
 味辛き芥子菜喰ふスィナーボ(支那坊)主は
 精力中々旺なりと聴くも
- Sincer-a 誠意の, 真実の, 真誠の
 スィンツェーラ(新寺)を建てた信者の功労は
 実に誠意の表示なりけり
- Sindikat-o 企業組合^{シヤクト}
 企業組合の主任は此頃スィンディカート
 (死んでかアと), 思はるる迄活動して居らぬ
- Sinedri-o 猶太の最高法院
 猶太の国最高法院の横暴さ, スィネドリーオ
 (睡^レ寝^レ鶏^ヲ)を闇に首絞る如し

- Singult-i 吃逆^{シグツ}
突然に精^シイン^ググ^ティ(神狂ふて)騒ぐ妻
親父びつくり吃逆するかな
- Sinjör-o (一)君, 様, 殿(男子一般の通称)
(二)紳士, 大人, 旦那
紳士, 君, 様, 殿といふ敬称は
スィンヨーロ(神要朗)とエス語曰ふなり
- Sinkop-o (一)〔医〕卒倒, 失神, (二)〔音〕約調
スィンコーボ(新弘法)法会に群衆殺到し
人波に酔ひ卒倒せんとす
- Sinod-o 〔宗〕宗教会議, 宗教大会
真言の宗教会議開かれぬ
弘法大スィノード(師の堂)の中にて
- Sinonim-o 〔文〕同義語, 類語
二の四もスィノニーモ(四の二も)合せば
六の数となる, 位置は代るも同義語と知れ
- Sinoptik-a 一覧の, 概括的
概括的, 一覧の上収税官は
スィノッティーカ(忍ぶ地下)まで眼を配るなり
- Sintaks-o 〔文〕文章法, 文章構成論
文章法教ゆる先生が明日来たる
早くスィンタツソ(新宅掃)除して置け
- Sintez-o 綜合, 合成
綜合し合成なして紀念品
立派に旧主へスィンテーズ(進呈ぞ)する
- Siren-o 〔神〕美人羊魚の妖婦, 人魚, 妖婦
神話にある美人羊魚の妖婦こそ
何れもスィレーノ(死霊の)変化なるらむ
- Siring-o 〔植〕紫丁香花^{ムサハド}
甘い柿スィリンゴ(酸い林檎)をば菓子鉢に
床には紫丁香花を挿す

- Sirop-o 糖水(果汁など加へたる), 〔藥〕舍利別
糖水に果実の汁など加へたる
ものをエス語はスィローボ(水露芳)と曰ふ
- Sistem-o (一)組織, 仕様, (二)制度, 方法,
(三)系統, 次第, 分類
聖会の組織, 制度や系統を
調理するまでスィステモ(死す共)止まじ
- Sitel-o 手桶, バケツ
永年の奉仕の結果古手桶
スィテロー(水底漏)出桶屋を雇ふ
- Situaci-o (一)地位, 身分, (二)境遇, 局面, 形勢
スィトアツィーオ(一足を)先に進めた先覚者
地位, 境遇を他と異にする
- Skabi-o (一)〔医〕疥癬, (二)〔工〕金屑^カ
スカビーオ(すか屁を)嗅^カされ疥癬を伝^カ染^カ
されて, あた阿呆臭いはがゆいと怒る
- Skadr-o 〔軍〕騎兵中隊
かスカードロ(春日道路)騎兵中隊進軍す
近畿地方の陸軍演習
- Skal-o (一)〔図〕比例尺, 比例尺を示す線,
(二)目盛
面倒をたスカロー(助からう)と図面師が
力と頼む比例尺かな
- Skalp-o 頭蓋皮(戦利品の)
戦利品の頭蓋皮きて満洲の
寒気を防ぐスカポ(素輕帽)と為す
- Skandal-o 汚行, 汚辱, 誹謗, 悪評
誹謗, 汚行の悪評ある故スカンダー
(好かんだろ), 烏の餌食にすると婦人は
- Skapol-o 〔解〕肩胛骨
肩胛骨地蔵の如く倒れたる
スカポーロ(素下坊侶)が乞食に巡る

Skarab-o 〔昆〕 鍬虫，一種の甲虫
鍬虫木枯吹いて弱り果て
生命絶えて^スカラーポ(巢からぽ)と曰ふ

Skarlat-o 緋，猩々緋(色又は染料)
緋衣を着るかお寺を出されるか
^スカルラート(緋の壇徒)の胆玉冷やす

Skarlatin-o 〔酒〕 猩紅熱
猩紅熱苦しさを^スカルラティーノ(助かる痔の)
良い，お供^ス水^ヲ呑んで全快するとは

Skarp-o 広帯，綬
た^スカル(助る)ボン(ポン)と膨れた子持腹
広帯除き「しごき」に代へる

Skatol-o 小箱，手匣，文箱
今日かあ^スカトール(明日か取らふ)と思ひ
忍び入り，小箱を抱へて逃ぐる泥棒

Skelet-o 骨骼，骸骨，骨組(機械などの)
胃は弱く有りま^スケレート(すけれど)骨格は
人に勝れて頑丈だと曰ふ

Skem-o 略図，要領
雲^スケーモ(助も)要領よろしく略図ぐらい
立派に書ける文明世界だ

Skeptik-a 懐疑の
「^スケプティカ」懐疑の動詞をエス語にて
^スケプティカ(素怪不知異乎)と曰ふぞ怪しき

Skerc-o 〔音〕 俗楽の一種
身の疲れた^スケルツ(助ける強う)する音は
俗楽の一種殊によろしき

Skerm-o 剣術
身の危急た^スケルモ(助ける者)は剣術の
奥義を知るに若くものは無し

Skism-o 〔宗〕 分離，離教，分派
宗教派分離の厄に逢はんとす
^スキ^スモ(好き角力)の僧の論争

Skiz-o (一)写生，(二)概略，略図，
(三)小品，漫筆，(四)下絵，図案，草案
概略は写生，小品，下絵かき
是が第一身の^スキーズ(好きぞ)と曰ふ

Sklav-o 奴隸
顔の色まつ黒助の奴隸をば
^スクラーフ(素暗坊)とぞエス語にて呼ぶ

Skol-o 学派，流派
^スコーロ(少考慮)の智慧で学派，流派と
ゑらさうに，蓄音機等が威張つて居やがる

Skolastik-o スコラ哲学
^スコラ^スティコ(寸考羅す小いこ)勉強したのを
鼻に懸けて，哲学知つた顔する馬鹿野郎

Skolop-o 〔鳥〕 山鵲^{ヤマグルマ}
山鵲の名詞はエスペラントにて
「^スコローボ」と称呼するなり

Skorbut-o 〔医〕 壊血病
壊血病全身病の中にも
^スコルブート(す凝る太)る難症なりけり

Skorpi-o 〔動〕 さそり
さそりと言ふ小動物をエス語にて
「^スコルビーオ」と称呼して居る

Skorzoner-o 〔植〕 きばなばらもんじん
きばなばらもんじんなる植物を
「^スコルゾネーロ」とエス語は言ふなり

Skrapi 削る，擦り剥ぐ，ひっ搔く
^スラーピ(梳く良非)この言^ヲ靈^ヲは削るてふ
エスペラントの称呼なりけり

- Skrib-i (一)書く, 字を書く, 手紙を認む,
(二)書を寄す, 文通す
宗教の祖師の伝記を**書く**信者
ス_クリービ(全_ス部_ス美)事を集めてぞおく
- Skrofol-o 〔医〕瘰癧, 腺病
瘰癧を「ス_クロフォー_ル」とエス語にて
称呼するなり万国共通で
- Skrupul-o 杞憂, 懸念, 細心
吾家にあ_スルプー_ル(明日来る貧_ス者_ル)は
細心で, 杞憂も懸念も要らぬ男子だ
- Sku-i 振る, 動かす, 揺る, 振り落す, 振り払ふ
地が**揺る**火災が起る時もあれ
ス_クーイ(救ひ)の神が大_ス麻_スを振る
- Skulpt-i 彫刻す(物像を)
物像を**彫刻す**べく山林の
用材ス_クッティ(選_スる打_ス)倒す杣
- Skurĝ-o 鞭(数条の革を附したる)
数条の革を附したる**鞭**を挙げ
味方たス_クルヂ_ス(助くる乗)馬隊列
- Skvam-o 〔動〕鱗, 〔植〕鱗片, 〔医〕鱗屑, 鱗脱皮
金鱗魚味ひ良ければ爺もス_ク(好く)
ヴァーモ(婆も)また好く虎猫の如くに
- Smerald-o 〔鉱〕緑柱玉
緑柱玉エスペラントの名詞には
「ス_メラ_スド」と称呼するなり
- Sobr-a 飲食を節せる, しらふの
飲食を節せる, しらふの身ながらに
ソーラ(さうブラ)ブラとするぞ可笑しき
- Soci-o 社会
人間はソツィーオ(礎地を)造り置かざれば
社会に出でて輕蔑されむ

- Social-a 社会上の, 社会的な
ソツィアー_ラ(礎地有_ラ)ば人間として**社会上の**
活躍何れも**社会的なり**
- Societ-o 会, 団体, 結社, 連中
本堂へ行くはソツィエ_ト(其方へと)旗振つて
お上_リ導く青年**団体**
- Sociolog-o 社会学者
ソツィオ_ルーゴ(礎地を老後)の為に造りおく
社会学者の深慮なきかも
- Sociologi-o 社会学
社会学ソツィオ_ルギー_オ(素地欧露議異応)
振りかざし, 講師滔々革命を説く
- Sod-o 〔化〕曹達
曹達にて洗ひ落した古着物
ソード(僧堂)坊主が喜んで着る
- Sof-o 安楽椅子, ソファー
瑞月が安楽椅子に横たはり
三千世界のソー_フォ(総法)を説く
- Sofism-o 詭弁, 僻説, 曲論, 屁理窟
ソ_フィ_スモ(粗非統_ス朦)詭弁を弄して我が持説
立_ス貫_スんとて口角泡飛ぶ
- Sofist-o (一)詭弁学者(古希臘の一派の哲学者),
(二)理窟屋, 詭弁家
ソ_フィ_スト(鹿非巢人)は理窟屋, 詭弁学者なり
古希臘の哲学者の一派
- Soif-i 渴す, 渴してあり
渴すとも盗泉の水吞まずとて
禅僧ソイー_フィ(粗衣布衣)着け - 修業す
- Sojl-o (一)敷居, 閤, (二)〔鉄道〕枕木
山門の敷居またげて入り来たる
ソ_リョ(僧色)いろの法衣まとひて

Sokl-o 土台, 柱脚, 台座

土台, 柱脚, 台座と同じ時に

言ひ付けらるる土方のソー_ろ (総苦勞)よ

Sol-a 孤独の, 唯一の

ソー_ろ (夫れ)見たか孤独淋しさ知つただろう

人は無妻で世には立てまい

Sold-o 仏, 伊国の銅貨

仏の僧天窓をソ_ド (剃る堂)の中へ

伊国の銅貨を婆々が投げ込む

Soldat-o 兵士, 軍人

何故に其様にソ_グダート (反_ソる_{んだ}と) 尋ねれば

上等兵士になつたと威張る

Sole-o 〔魚〕靴底魚_ヅ, したひらめ

海底の砂を這ふ様におよぎる

ソ_レーオ (其れを) 靴底魚とこそは日ふなり

Solecism-o 文法的誤謬

ソ_レツ_ィモ (莊麗地位李) 桃の花を手折りつつ

大学教授が文法的誤謬を為す

Solen-a 莊嚴なる, 盛大なる, 公式の

莊嚴なる大祭典に参加して

最_いとソ_レーナ (莊麗な) る神姿拝しぬ

Solid-a 固形の, 堅実の

堅実のソ_リーダ (轡だ) 乗つて見よ

固形の石は無いスキー場よ

Solidar-a 〔法〕連帯責任の, 連帯の

商法上連帯責任の訳知らぬ

田舎の登記所ソ_リダーラ (粗吏だら) けなり

Solist-o 独唱者, 独奏者

ソ_リスト (総理主人) が独奏者となり洋室に

独唱しながらピアノを弾ずる

Solv-i 〔一〕解く, 解決す, 解答す,

〔二〕(理)溶解す

漢字を以て綴れる書籍読みなやみ

ソ_ルヴ_イ (総_ル振_イ仮_イ名_イ) 附けて意味を解決す

Solvent-a 支払能力ある

髭もソ_ルヴ_エン_タく (剃る便沢) 山に出す奴は

支払能力あるものと知れ

Somer-o 夏

夏の色深くなりソ_メーロ (初め老) 人も

漸く元氣加はりてけり

Somnambul-o 〔医〕離魂病者

離魂病者 エスペラントの称呼には

ソ_ムナム_ブー_ロ (粗夢南無浮浪) と使用する也

Son-i 鳴る, 音を發す, 聞ゆ

何事か急用突発したらしい

鈴_{スズ}の鳴る音忙しソ_ニ (さうに) 聞ゆ

Sonat-o 〔音〕ソナタ, 琴楽

音曲のソ_ナタも上手に誤魔かしぬ

ソ_ナート (さうなと) せねば勤まらぬ故

Sond-i 水深を測る, 探る

ソ_ンディ (村爺) が用水池の水深を測ると

竹棹持て水底探る

Sonet-o 〔詩〕短詩, 十四行詩

「ソ_ネート」はエスペラントの名詞にて

短詩を指した称呼なりけり

Song-i 夢を見る

選まれし神の御船に乗せられて

ソ_ンヂ (尊兄) を産みし夢を見るかな

Sonor-i 鳴る (鐘, 鈴などの)

鐘や鈴鳴るソ_ノーリ (其の理) 由は火と水の

息の調和によるものぞかし

Sopir-i 憧憬^{ソギ}る, 慕ひ歎く, 偲ぶ, 思ひわぶ, 嘆息す
 憧憬^{ソギ}るゝ人をし訪へば腹下だし
 くソピーリ(糞ピリ)ピリと雪隠の音

Sopran-o 〔音〕最高音部
 音楽上最高音部の名詞をば
 「ソッラーノ」とエス語にて曰ふ

Sorb-i 吸ふ, 吸収す
 ソルビ(僧流美)衣纏ふて後家の巾着や
 迷信男女の膏血を吸ふ

Sorc-i 〔一〕魔法を使ふ, 魔法にて変ぜしむ,
 〔二〕魅す, 惑はす
 ソルチ(僧流痴)が緋衣かざりて人を魅す
 魔法を使ふ厄介な奴

Sorik-o 〔動〕地鼠
 ソリーコ(剃りこ)ぼち黒き衣を着た坊主
 地鼠の如く地下線潜る

Sorp-o 〔一〕〔植〕清涼茶^{ソカド} 〔二〕清涼茶の実
 茶人連寄り集りて清涼茶
 薄茶も立てるソルボ(僧侶房)かな

Sort-o 運命, 天運
 運命か將た天運の尽きしかと
 頭ソルト(剃ると)隠棲勇士

Sortiment-o 揃ひ, 取合せ(商品)
 取合せ商品揃ひの清殿に
 恐るおソルティメント(恐る耻面当)するも

Sova&-a 〔一〕野生の, 〔二〕野蜜の, 未開の, 粗野の
 此馳走野生のソヴァーヂ^ソ(蕎麦ぢや)まづけれど
 食つてお呉れよ野蜜の料理も

Spac-o 〔一〕空間, 〔二〕場所, 場席, 余地
 スポーツ^ソ(素破ツ^ソ)抜き放ちたる空間の
 納むる場所なき秋水の波

Spad-o 劒
 大江山登れば酒吞童子奴が
 劒をスパード(スパーツと)抜いて威嚇す

Spalir-o 〔園芸〕壁に沿ひて植ゑ連ねたる果樹, 樹籬
 壁に沿ひて植ゑ連ねたる果樹園樹
 スポリーロ(スッパリ老)木までも伐り払ふ

Spasm-o 〔医〕痙攣
 痙攣の癖附きてより苦しさに
 スポスモ(暫しも)安樂の味を覚えす

Spat-o 〔鉱〕泥石, 方解石類の総称
 すばスパート(すばと)泥石鉱の工夫等が
 萩くゆらして休息してゐる

Spec-o 種類, 〔博〕種
 色々と種類の多いはホトトギス
 スポーツ^ソ(種別を)立てゝ時鳥^トの声

Special-a 特別の, 特殊の, 専門の
 スポツィアーら(種別あら)じ神専門の我なれば
 また特別の秘密さへ無し

Specimen-o 見本, 標本
 赤青のスポツィメーノ(種別瑪瑙)を陳列し
 博覧会に見本出品

Spagul-o 鏡
 スポゲーロ(すべ黒)い顔を鏡に写し見て
 驚き直ちに白粉を塗る

Spektakl-o 観物^ソ, 見世物, 興行物
 観物をばエスペラントの名詞には
 「スポッター^ソ」と称呼するなり

spektr-o 〔理〕スペクトル
 スペクトルをスポクトロ(酢屁苦頭臘)と語尾に
 「オ」を, 附してエス語は通用さすなり

Spekul(aci)-o 投機

投機^スペクラ^{ツィ}ーオ(すべく埒を)つけて
家倉を、皆金にして準備する馬鹿

Spekulativ-a 純理論的、空論的

純理論的講演^スペクラ^{ティ}ーヴ(すべく良地場)
選んで博士獅子吼するなり

Sperm-o 〔生〕精液

薯汁をこぼした板の間を踏めば
精液の如足^スペルモ(滑べるも)

Spert-a 巧なる、熟練なる

巧なる牧童一人走り行く
^スペルタン(すべる田)圃の細畦道を

Spez-o 出納、収入支出

物品の出納係の役員を
^スペーズ(素閉蔵)と商人罵る

Spic-i 香料を加ふ、薬味を入れる

発糞^スピーツィ(すピーチ)ピーチと下痢病者
雪隠の中に香料を加ふ

Spik-o 〔植〕穂、穂状花

稲の穂をねらつてから^スピーコ(烏ピーコ)
ピーコと、鳴子の上に揺られてゐる

Spin-o 〔解〕背骨、背柱

か^スピーノ(滓非異の)男の背骨曲みつゝ
猫負ひ背^スでうつむいて行く

Spinac-o 〔植〕菠薐草^{ホレンソウ}

副食の料理にはよき菠薐草
さ^スピナーツ(刺す日夏を)守る薬草

Spion-o 間牒、軍事探偵

^スピオーノ(◎^ス非王の)敵の間牒忍び込み
あらぬ嘘まで密告をする

Spir-i 呼吸す

重患者今絶命^スピーリ(すピリ)ピリと
呼吸す手足が微動してゐる

Spiral-o 〔幾〕螺旋線^(中心に近づくに従ひ)

螺旋線^(漸次接近せるもの)エスペラントの名词にて
^スピラー(数比等路)と称呼するなり

Spirit-o 〔一〕気、生氣、〔二〕精神、氣象、心

〔三〕靈、神靈、靈魂
氣又は精神、靈をエス語にて
^スピリート(◎^ス日惻意図)とぞ称呼するなり

Spiritist-o 降神家、降神説信者

身も魂も清め澄ました降神家、^スピリテ^イスト
(◎^ス日惻智偉寿図)とエス語言ふなり

Spiritualism-o 心靈論、精神主義

心靈論、精神主義を唱へつつ、誠の道に
^スピリト^ッアリ^スモ(滑りとう在りすも)

Spiritualist-o 心靈論者

心靈論者^スピリト^ッアリ^スト(◎日惻図在り主と)
思ふまで、訳の判らぬ珍論を吐く

Spit-e 反して、顧みず、拘らず

年寄れば血潮も肉も干^スピーテ(しびって)
面^{モテ}反して誰も顧みず

Splen-o 氣鬱病^{フゾイ}

氣鬱病今日も寝てゐる山の神に
^スプレノ(スープ例の)を拵らえてやれ

Split-o へぎ板、木片、裂片

木片の屋根葺き男裂片に
足蹟いて^スプリート(すふりと)落ちたり

Sponde-o 揚々格(詩)

^スポ^ンデーオ(素本帝王)詠じたる詩の面白さ
意氣揚々格の作品

Spong-o (一) 海綿, (二) 〔動〕海綿類
 スポンゴ(すばん)と抜け出したる白鞘の
 少くなりぬ海綿質棒

Spontane-a 自発の, 自生の
 我庭の自生のスポンタネーア(すばん種あ)りて
 穀割りて居り自発の力に

Sport-o 運動, 屋外遊戯
 スポーツ(ベースボールと)運動会を組織して
 青年男女が遊び戯むる

Sprit-a 頓智ある, 機智ある, 気の利いた
 頓智ある男は余りスプリータ(すぷりた)
 顔形なし風のまにまに

Spron-o (一)拍車(騎者の靴踵に附する金具),
 (二)〔植〕距(花被の一部突出せるもの)
 騎馬兵の靴の拍車に攻められて
 馬スプローノ(統武楼の)郊外走る

Sput-i 唾す, 痰唾を吐く, 吐く(血などの), 噴き出す
 肛門の扉開いて唾する婆々
 スプーティ(音)と鳴り物で出る

Stab-o 〔軍〕幕僚, 参謀部, 本部
 幕僚を従へ総理スターボ(スター歩)で
 大震災の焼跡巡ぐる

Stabl-o 仕事台, 仕事板, 台, 架
 学校の椅スターろ(子テーブル)も教員の
 一つは仕事台となるなり

Staci-o 停車場, 停留場, 駅
 停車場へ息もすたタツィーオ(すた地を)
 鳴らし, 乗り遅れじと走り行くかも

Stadi-o (一)古希臘の里程(約百間), (二)一日行程
 古の希臘の里程百間を
 「スタディーオ」とエス語曰ふなり

Stal-o (一)厩舎, 畜舎, (二)〔劇〕別席, 棧敷
 すたスターろ(すた驢)馬牧童に曳かれつゝ
 厩舎を指して帰り行くかな

Stalagmit-o 〔鉱〕石筍
 鐘乳洞潜ればスタラミート(数多良具美塔)の
 石筍鉱物立つが珍し

Stalaktit-o 鐘乳石
 鐘乳石スタラティート(数多良具程度)
 羅列せる様仏像の立てるが如し

Stamen-o 〔植〕雄蕊
 雄蕊スタメーノ(吸うた女の)顔の嬉しそうな
 そうして何を考へ居るだらうか

Stamp-o 印, 極印, 消印
 参拝の印に事務所に立ちよて
 「スタムボ」押して貰ひ帰り来

Stan-o 錫
 錫の瓶神に奉納スターノむ(す頼む)事
 聞いてお呉れと稲荷に芸妓が

Standard-o 旗(団体などの記標たる)
 団体の記標となせる旗かざし
 スタンド(数壇樽堂)々寺へねり行く

Stang-o 棒, 竿, 棹
 スタング(数反具)服物をば担ぎ行く
 人夫の棒は三日月と撓む

Star-i (一)立つてゐる,
 (二)静止してゐる(水など)
 世の中のスターリ(捨り)ものゝ乞食等は
 朝夕人の門戸に立つてゐる

Stat-o 有様, 状態
 すたスタート(すたと)宣伝歌をば歌ひつゝ
 行く有様の勇ましきかな

Statistik-o 統計, 統計学

統計と曰へる名詞はエス語にて, **スタティスティーコ**
(数多知数知古)と称呼するなり

Statu-o 像, 彫像, 鑄像

スタトローオ(数多塔を)並べた墓に六地藏
石に像をばはられて交はる

Statur-o 身長

身長の短き人は床の**スタ**(下)
トローロ(通路)となして自由に往来す

Stearin-o 〔化〕ステアリン(脂肪素), 硬脂

ステアリン脂肪素をばエス語にて
「**ステアリーノ**」と称呼するなり

Steb-i 刺縫す, 重ね縫ひす

刺縫する女の業務を早く**ステー**(捨て)
ビ(美)服を縫ふて高等売淫する

Stenograf-i 速記す

筆持ちて**ステノッラーフ**(素手の具良布衣)
講演の, 言々句々を**速記**するなり

Stenografi-o 速記術

速記術なさむと**ステノッラーフーオ**
(素手の具良布衣を)数多雇ひて演壇に送る

Stel-o 〔 $\rightarrow$ 〕星, 〔天〕恒星, 〔 $\rightarrow$ 〕星章, 星標

スターろ(統^天朗)の空に星最^イとキラキラと
輝き渡り世の状を示す

Step-o 〔地〕荒原

現し世に身を**ステーボ**(捨て某)の旅僧が
鬼婆住める**荒原**に行く

Sterk-o 肥料

道端に**ステルコ**(捨てる木)の葉を掻きあつめ
稲田に入れて**肥料**とぞする

Sterled-o 〔魚〕小蝶鮫コヨザ

小蝶鮫腸腐臭くして
止むなく**ステルレード**(捨てる泥土)の中へ

Stern-i 敷く, 敷き延べる, 拡げる, 塗る(漆喰など)

主人をば尻に敷くやうな女房は
早く**ステルニ**(捨てるに)若くは無からん

Stertor-o 喘音(瀕死者などの呼吸と共に発する嘶音)

喘音が段々怪しくなつて来た
喉啖**ステル**(捨てる)**トロー**(頭顱)冷やす

Stil-o 体裁, 様式, 風, 流儀, 文体, 建築風

そんなもの携えて居ると**体裁**が
余り良くない早く**ステイー**ろ(捨てる)

Stimul-i 鼓舞す, 刺戟す, 励ます

刺戟, 鼓舞, 励ます力に会員は
スティムーり(素手無理)やり活動するなり

Stip-o 〔植〕金雀花ニシ

金雀花の花咲き匂ふ神苑を
ステイボ(ステツプ)し乍ら散歩するかな

Stipendi-o 奨学金(学生へ)

自我と慾を**ステイペンディーオ**(捨て便地位を)
考えて, **奨学金**を学生に恵む

Stof-o 露西亞の榭目(1.536リットル)

ストーフ(数斗法)は露西亞の榭目一.五三六
リットルとこそエス語言ふなり

Stoik-a 情に動ぜぬ, 堅忍の

堅忍の心励ま**ストイカ**(すと如何)にしても
情に動ぜぬ人となるなり

Stomak-o 〔解〕胃

ストマーコ(酸^スと飯^子)納るゝ胃の腑を大切に
守るは長寿の基なりけり

- Stopl-o 刈株 (穀類の)
 刈株を満載したるトラックが
 ストパー(ストップ路)傍に動かず時移る
- Strab-a 簾睨^リの, 斜視の
 ストラバ(数等恋)の熱もさめけり簾睨の
 美人と今や覚りし上は
- Strang-a 風変りの, 奇異の, 変なる
 風変りの万年青の鉢よりいやまさり
 スランガ(数等蘭香)珍重せらるゝ
- Strat-o 街, 市街, 通り
 ペスト菌撲滅せんと警察へ
 街人ストラート(数等鼠^ト)を持ち行く
- Strategi-o 戦略
 スラテギーオ(数度良提議を)持出し見れば
 長官は, 良き戦略と褒めて呉れたり
- Streç-i (一)引伸す, 張る, 張り拡ぐ, 緊張す,
 (二)捲く(時計を), (三)気を張る, 奮発す
 真人の写真を広く引伸す
 ストレチ(数等靈緻)な小照となる
- Strek-i (一)線を画く, 棒を引く,
 (二)棒を引き消す
 秋と冬の天候線を画く時は
 ストレキ(数等冷氣)加はり来る
- Stri-o 縞, 線^ス, 条文
 竜宮縞売り出す大正の呉服店は
 他よりストリーオ(数等利を)得るなり
- Strig-o 〔鳥〕梟^ス属
 からストリーゴ(鳥鳥午)後の六時になりぬれば
 梟属の鳥に悩まされて啼く
- Strigl-i 手入れす(馬に)
 馬^スが塵かストリーリ(粕取り栗)毛なる
 馬に朝夕手入れするなり

- Strik-o 同盟罷業, ストライキ
 職工の同盟罷業の張本を, ポリ
 ストリーコ(ポリス捕^リ虜^コ)にして帰署する
- Striknin-o 〔薬〕ストリキニーネ
 ストリキニーノ(素取り国の)主領となりて
 奸臣にストリキニーネの劇薬盛らるも
- Strof-o 〔詩〕節(一律全体の詩の)
 エス語にて一律全体の詩歌の節は
 ストロフ(主統老符緒)の称呼なりけり
- Struktur-o 構造, 結構, 組織, 組立
 構造はエスペラントの名詞にて
 ストルトゥーロ(巢取。苦棟梁)と称呼するなり
- Strut-o 〔鳥〕駝鳥
 背の荷を降ろストルート(す取ると)喜んで
 羽ばたきしつゝ啼く駝鳥かな
- Stud-i 専門に研究す, 学問に従事す, 研学す
 ストゥーディ(◎^ス統治)世界平和を来さんと
 為政者は専門に研究するなり
- Student-o 学生(大学, 大学院等の)
 大学の学生信ずるキリスト^ス(スト)
 デント(伝統)的に日曜を守る
- Stuk-o 漆喰, 化粧漆喰
 漆喰を庭の表に施ストゥー(すと)
 コ(凝)り固まつて堅庭となる
- Stult-a 愚鈍の, 間抜けの
 恩人の家の門さえストゥタ(素通るた)わけ
 間抜け, 愚鈍の厄介代物
- Stump-o 切残り, 切株
 大木をストゥムボ(すつんぼ)とやつた切株に
 交りて未だ在り切残りの樹々

Stup-o 麻屑, 屑麻
麻屑の捨場に困り止むを得ず
廢物利用とストーボ(ストーブ)に投げる

Sturg-o 〔魚〕てふざめ
てふざめをストゥルゴ(数頭留御)發送願ひます
食道樂の会がある故

Sturn-o 〔鳥〕椋鳥
ピストゥルノ(ストルの)声に驚き椋鳥の
飛び散る見れば木の葉の如し

Sub 〔前〕の下に
諒解の下に縁をば結スッ(すぶ)人
出雲の神の恵みなるらむ

Subit-a 俄かの, 急の, 突然の, 不意の
角力取り俄かの病に犯されて
ひスピータ(しびいた)りけり全身の肉

Subjekt-o 目的物, 題主, 論件,
〔文〕主語, 〔哲〕主観, 〔論〕主位
青年の目的物は愛人と, 爰にしを
むスプイェクト(結ぶ永苦と)知らずに

Subjektiv-a 主観的
主観的に觀察スプイェクティヴ(すべく地場)を
選定し, 心靈学者が首ひねるなり

Subjunktiv-o 接続法
邸宅を拡張スプユンクティヴ(すべく智謀)を
廻らすブルの隣地併吞

Sublimat-o 〔一〕〔化〕昇汞, 〔二〕昇華物
昇汞の瓶を壊はして治療室
くスプリマート(燻りマーと)驚く書生

Substanc-o 物質, 実体, 本体
本体や実体的の論説は, スブスタツォ
(素布須丹強)く物質を主とする

Substantiv-o 〔文〕名詞
名詞なる名詞はエスペラントにて
「スブスタンティーヴォ」と称呼するなり

Subtil-a 〔一〕精微なる, 繊細なる, 微妙なる
〔二〕緻密なる, 鋭敏なる
精微なる智者を集めて一切の
學術をスプティーラ(統ぶ智偉羅)列して

Subvenci-o 補助金(政府の)
民衆をスプヴェンツィーオ(統ぶ便地位を)得ん
として, 政府の補助金願ふブル会社

Suč-i 〔一〕乳を吸ふ, 〔二〕吸ふ, 啜る, しやぶる
スーチ(吸ふ乳)なき嬰兒が乳母の乳を吸ふ
乳母は毎日焼鯛しやぶる

Sud-o 南, 南国, 南地
赤道のスード(数度)南の南国に
發展すべく出稼ぎに行く

Sufer-i 苦しむ, 悩む, 難渋す, 害を受く, 難に遭ふ
うスフューリ(薄曇)破れ田舎の家の内
表替へする金に苦しむ

Sufiĉ-a 十分の, 満足の, 程よき, かなりの
十分の女の誠意見んとせば
スフィーチャ(好いちや)いけない男の方から

Sufiks-o 〔文〕接尾語
接尾語をスフィクソ(酸い糞)と称ふるも
矢張りお尻に縁があるゆへ

Suflor-o 黒坊(舞台にて密かに俳優に助言する者)
黒ン坊は舞台にて密かに俳優に
スッロ一ロ(数符労老)の助言するなり

Sufok-i 窒息せしむ, 息を塞ぐ
朝夕にスフォーキ(吸ふ腐汚気)は田舎人を
もろくも窒息せしむるに足る

Sugesti-o 入智慧, 暗示

入智慧の**スゲスティーオ**(素下司地位を)思ひやり
高めやらんと**暗示**を与ふ

Suk-o 液, 漿, 汁

スーコ(少)しの**精液**にても**アミーバ**が
存在すれば妊娠はする

Sukcen-o 〔鉞〕琥珀

貴婦人が咽を鳴らして**スツェーノ**(好く底の)
琥珀の帯止め高価なりけり

Sukces-i 成功す, 好結果を得

先生の**スツェースィ**(好く弟子)は**成功す**
何に付けても抜目なければ

Suker-o 砂糖

砂糖過ぎ牡丹餅あまりしつこいで
ちと**スケーロ**(助けろ)と下女に呉れてる

Sulfur-o 〔鉞〕硫黄

疥癬てう病に利くと聞きしより
硫黄投入**スフーロ**(する風呂)に入る

Sulk-o 〔一〕哇^ワ, 〔二〕皺

田の畦に皺のよつたる老農が
耕作を**スッコ**し(する腰)を屈めて

Sultan-o 土耳其帝の尊称

謝絶**スターノ**む(する頼む)で先生は止めて
くれ, **土耳其帝**の尊称の様なこと

Sum-o 〔一〕和, 合計, ノ高, 総額, 〔二〕金高, 金額

スーモ(角力)取り**合計**二百**和解**した
席料**金高**千円を越す

Sun-o 太陽

太陽は天に一体かゝるより
スーノ(数の)一とぞ定称するなり

Sup-o スープ, 肉汁

スープをば**スーポ**(スープ)スーポと吸ふて居る
西洋料理に初めて着いて

Super 〔前〕…より高く, …より上に, …の上に

御空**より高く**坐します神柱
宇宙を**スーペル**(統スべる)力まします

Superlativ-o 〔文〕最上級

天界を**スペル**ら**ティーヴォ**(統べる良智偉母)の
皇神は, **最上級**の神に坐しけり

Superstiĉ-o 迷信

迷信も人の心を**スペルステイ**(統べる素地)
チョ(ちょ)つとは為になる事もあり

Supoz-i 想像す, 仮定する

想像する人の力は**スポーズィ**(素宝治)
国と家とを富まさんがため

Supr-e 上方に, 高く

上方に押**スーレ**(す無礼)と知らずして
席をすゝめる田舎の紳士

Sur 〔前〕の上に, の表面に, の上にある

スルが(駿河)富士山**の上に**積む夏の雪
仰ぎ見るさへ心清けき

Surd-a 聾の

いやなこと聞かされ**聾**の真似事を
スルダ(するだ)け心辛^ツきものなり

Surpriz-o 〔一〕不意打, 不意の出合, 〔二〕意外なる事

〔三〕驚愕, びっくり,
不意打を喰つて**びっくりスルプリーゾ**
(する風姿ぞ), 実に滑稽の極みなりけり

Surtut-o 上衣, フロックコート

上衣をば裁縫**ストット**(するち^ツと)呉服屋が
直ぐ持ち帰り店に陳列す

Suspekt-i 疑ふ, 怪しむ, 嫌疑をかける
 スペクティ(酔々屁口)何時も頼りのない話
 する故又かと人は疑ふ

Sutan-o 教服, 法衣
 五^イ六^ロ七^リ殿スターノ(数多の)教服身にまとひ
 神前奉仕の勤務役員

Svarm-i 雲集す, 群り動く, うちゃうちゃす, たかる
 エス語会四方の国より雲集す
 御空の星の^スヴァルミ〔スバル(星)み〕る様に

Svat-i 媒酌す
 媒酌す仲人の前に御馳走が
^スヴァーティ(数鉢)並んで勇しく見ゆ

Sven-i 気絶す, 失神す, 卒倒す
 高田馬場堀部や^スヴェーニ(安兵衛に)悩まされ
 敵は驚き気絶するかな

Sving-i 振る, 振り動かす, 振り廻はす
 水菜の中味を忘れて医家書生
 薬種查べて^スヴィンギ(数罎器)振る

Ŝ

Ŝaf-o 〔動〕羊
 キリストが神の児羊導きて
 シャーフォ(謝報)の誠を説き明かす

Ŝah-o ペルシヤ王
 シャーホ(奢放)なるペルシヤ王は国民の
 膏血搾ると悪評が立つ

Ŝajn-i と見ゆ, と思はる, の如し, に似たり
 珍しき品を沢山送り来ぬ
 神恩^{シャ}ニ(謝意に)献りしと見ゆ

Ŝak-o 西洋将棋
 シャーコ(さあ来)いと捩鉢巻の隠居さんが
 椅子によりつゝ西洋将棋打つ

Ŝakal-o 〔動〕豪狗^{キヌ}
 豪狗の吠えたける声聞こえけり
 牝犬探して^キシャーロ(交^キ尾^カらう)とするか

Ŝal-o 肩掛, ショール
 白首が人力車上で眠つたか
 絹の肩掛^キシャーロ(車路)に落ちてゐる

Ŝalm-o (一) 牧笛, 麦笛, (二) 火吹, 吹管
 牧笛の声に羊の寄り来たる
 シャモ(猿も)樹から驚き墜ちる

Ŝalup-o 小蒸汽^{ラフ}
 小蒸汽に乗りてし行けば^キシャーボ(猿帽)を
 着たる船客の顔は黒きも

Ŝam-o 羚羊^{キヌ}皮
 羚羊皮は痔を病まぬとて俳優も
 芸^キシャーモ(者も)競ふて尻に敷くなり

Ŝanc-o 機会, 機運, 運
 ちと^キシャツォ(シヤンと)せなくちやならぬ
 此の機会, 外づして何時か活動やせむ

Ŝancel-i 揺る, 揺り動かす
 ゴロツキが富豪を揺る凄^キ文句
 シャツェーリ(思案底裡)に警察へ訴ふ

Ŝang-i 変ず, 改む, 更ふ
 十二時の出発なれど汽車に遅れ
 是非なく^キシャヅ(三時)と時間を変ず

Ŝankr-o 〔医〕下疳, 硬性下疳
 玉の肌花の顔が^キしたる^キシャ(美^キ人^ン)
 口(苦勞)するのも下疳のために

Ŝarad-o 謎の一種

シャラード(洒落堂)とは謎の一種と聞きしかど
余りしやれると分らなくなる

Ŝarg-i 弾薬をこめる, 装填す, [写]種板を装置す
弾薬をこめるは良けれ危険ぞと

常に仰^マシャルギ(しゃる義)母の教訓

Ŝarg-i 積む(荷物を), 載す, [電]充電す

人力車に荷物を積むは不都合と

仰^マシャルヂ(しゃる爺)の禿頭光^ル

Ŝark-o [魚] 鱧^ヲ, 鮫^ヲ

色鱧(深)き男は容易に眼鮫(醒め)ない

親の仰^マシャルコ(しゃる小)言^トも屁で聞く

Ŝat-i 気に入る, 意に適ふ, 好く, 珍重す

名古屋市で気に入るものは城頭の

シャーティ(鯨)に優るものなかりけり

Ŝaum-i 泡立つ

走る汽シャッミ(車海)に飛び込み遭難の

その瞬間は浪に泡立つ

Ŝel-o 殻(貝, 卵, 殻物等の), 外被, 樹皮

シェーろ(西牢)は貝, 卵, 殻物等の殻

エスペラントの名詞なりけり

Ŝelk-o ズボンツリ, 肩に掛くる紐

学問を教^マシェコ(へる子)等に教員が

ズボンツリをば買ひにやらせる

Ŝerc-i ひやかす, 戯る, 戯談^ヲを言ふ

教員に教^マシェツィ(へる地位)に在るものを

今の学生は師までひやかす

Ŝi [代] 彼女

売れ口が遅いと聞いた彼女は

寢床でシ(小便)を外づすと見える

Ŝild-o 楯

天の下シ^ド(知る道)具等は矛に楯

唯一と頼む世は過ぎにけり

Ŝiling-o シリング(英貨)

シリングてふ英貨をエスペラントにて

シリ^ゴ(四厘五)と称呼するなり

Ŝim-i 黴^ル

シーミ(染汚)の喰た古い頭の持主は

言ふ言の葉も黴るやうなり

Ŝind-o [建] 柿^ヲ, 折板^ヲ, 屋根板

シンド(震動)した大地の騒ぎに屋根板の

柿^ヲは忽ちバラバラに散る

Ŝink-o 塩豚肉, 臘乾^ヲ, 燻腿^ヲ

神仏をシ^ンコ(信仰)してる信徒等は

塩豚肉を食はぬものなり

Ŝip-o 船, 艦

深雪姫泣いて明石の風待ちに

シーボ(しっぽ)りと会ふ船の縁かな

Ŝir-i 裂く, 破る, ちぎる

太^マ明^シが日本をシー^リ(尻)に敷くと言ひ

秀吉怒りて封書をば裂く

Ŝirm-i 庇^ヲふ(対して), よける

争論に対して庇^ヲふは何故ぞ

互にぞシ^ルミ(知る身)内^ヲなりせば

Ŝlim-o 泥, 泥土, 泥状物

大宮の清き^シリーモ(修理も)あらがねの

泥もて壁を塗るものぞかし

Ŝlos-i 鍵をかける, 錠を卸す, 密閉す

^シュー^スィ(醜漏水)流入防ぎ鏡池の

垣根に固く玉鍵^ヲをかける

Ŝmac-i 音させて接吻す

大教^シマーツィ(主待ち)下されと熱信者が
チュウチュウ口に音させて接吻す

Ŝmir-i 塗る, 塗りつける, 塗擦す(主に脂油類にて)

白壁に最^イと怪し気な^シミーリ(浸み入り)て
ばやきながらに上壁を塗る

Ŝnur-o 綱, 縄, 細引, 糸紐

大棟木毛綱や縄を作らんと
仏へ髪を断つて^シヌーロ(死ぬ老)人

Ŝose-o 車道, 大道, 土堤

人力車^シセーオ(書生を)のせて土堤の上の
大道を行く姿の寒きも

Ŝov-i 押しやる, 滑らす, ずらす

只今は^シーヴィ(焦眉)の急が迫つたと
好きな将棋盤向ふへ押しやる

Ŝovel-i 抄ふ, 抄ひ出す, 抄ひやる(土砂, 炭, 殻物などを)
掻く(雪掻などにて)

国^シヴェーリ(書ベリ)ベリと裂いて太閤が
国の恥辱を抄ふ健気さ

Ŝovinizm-o 似非^ニ愛国主義, 馬鹿慷慨

^シヴィニヌモ(小尻尻異巢藻)馬鹿慷慨を
なしながら, 似非^ニ愛国主義を弄する也

Ŝovinizist-o 似非愛国者

^シヴィニヌト(小尻尻異巢盜)表に善言美辞を
曰ひ, 世をば欺く似非愛国者かな

Ŝpar-i (一)儉約す, 節約す, 惜む,

(二)貯金す, 蓄財す

生活を^シパーリ(締^メり)身動きならないと
儉約するを下女ばやくなり

Ŝpat-o 西洋鋤^シ

山林の^シパート(柴と)草を鋤き返へす
地均しに便なる西洋鋤(スパード)なる哉

Ŝpin-i 紡ぐ, 紡績す

糸紡ぐ糸引車廢されて
世に捨てられた^シピーニ(首尾に)逢ふ哉

Ŝpruc-i 噴出す, 迸^ハる, 飛散す(液体に言ふ)

噴火山鳴動し出し^シッルーツィ(醜古血)
なせる泥火を盛んに噴出す

Ŝrank-o 戸棚, 衣厨

贅沢な戸棚の艶は^シラッコ(朱欄光)
鏡の如く姿が写る

Ŝrapnel-o 榴霰弾

舷側の^シラッネーろ(白船鹽)の音勇ましく
港に入れば榴霰弾打つ土人

Ŝraub-o 螺旋^ヲ, 螺釘

ハイカラな^シラッボき(棕櫚簪)は結び目に
螺旋^ヲ拵らへて固めてぞあり

Ŝtal-o 鋼

切れ物の製作に必要なものは
鋼鉄鉾が最も^シターろ(主だろ)

Ŝtat-o 国, 国家

国または国家のために善政を
^シタート(為たと)法螺吹く政^ヲ幽^ヲ代^ヲ偽^ヲ士^ヲ

Ŝtel-i 盗む, 竊取す

世を盗む事のみ思ふ天罰で
妻はヒ^シテリー(ヒステリー)病んで苦しむ

Ŝtip-o 木片, 丸太, 木塊, 台木

^シテーボ(質棒)は木片, 丸太の名詞にて
エスペラントの称呼なりけり

Ŝtof-o (一)切地, 反物, 織物

(二)材料, 要素, [化]元素
女^ヲ児^ヲの衣服に用ゆる反物や
切地を要し^シトーフ(朱唐布)を買ふ

Šton-o 石

現代の人に菊石(あばた)の顔なきは
シュト^ノ(種痘の)効と誰も知るなり

Štop-i 塞ぐ, 填める, 栓す, 止む(出血などを)

肛門の塞ぐ病気に下剤飲めば
軟便シュト^{ビー}(すとピー)ピーと出る

Štrump-o 長靴下(膝に達するもの)

シュトルム^ボ(捨つる無謀)長靴下をエス語にて
名詞となして称呼するなり

Štup-o 踏段, 段(階段の)

踏段に躓き仆れし人を見て
シュトッ^{ポー}(守道坊)周章^テ抱き起すなり

Šu-o 短靴

シュー^オ(醜惡)なる泥道行けば短靴も
泥にまぶれて鼻紙となる

Šuld-i 債を負ふ, 債務あり

此頃の不景氣免るゝ術もなく
シュル^{ディ}(醜類爺)是非なく債を負ふ哉

Šultr-o 肩

肩と言ふ名詞をエスペラントにて
シュル^{トロ}(手留吊ろ)とこそ称呼するなり

Šut-i 投ず, 放出す(土砂, 穀物の)

重病と診断の上シュー^テ(主治医)師は
頓服剤を周章^テ投ず

Šveb-i 翔ける, 浮ぶ, 漂ふ(空中に)

空中を翔ける飛行機にのり行けば
手足はシュ^{ヴェ}ー^{ビー}(しびれ冷え)びえと浮ぶ

Švel-i 膨脹す, 腫れる

うシュ^{ヴェ}ー^{リー}(薄べり)を土用干すりや忽ちに
熱を含んで膨脹するなり

Švit-i 発汗す

猩紅熱病める患者のシュ^{ヴィ}ー^テ(首尾乳)は
一入強く発汗するなり

T

Tabak-o 煙草

煙草の耕作を為す百姓が
一服休みにタバ^コ吸ふなり

Taban-o 〔昆〕蛇

夏の夜に唯一のタバ^ノ(東の)葉焚けば
数多の蛇が集り来たる

Tabel-o 表, 目録

麵類の店に飛び込み井を
タバ^ーろ(食べる)として目録定価表を見る

Tabl-o テーブル, 食卓

テーブルの上に膳碗鉢並べ
舌鼓して飯をター^ーろ(食べらう)

Tabul-o 板

石風呂は冷やかなれば四角なる
板で囲ふた いタブ^ーろ(板風呂)に浴る

Taburet-o 床几, 小腰掛

庭前の床几に小腰掛けながら
醜のタブ^レート(痴呆と)エロ語る不良

Tačment-o 〔軍〕支隊, 分遣隊

攻撃軍支隊は敵の糧道を
タ^チメント(絶ち面闘)の戦ひ防ぐ

Taft-o 琥珀織

好くも似タ^{フト}(た風と)立寄りながむれば
質に流した琥珀織着てる

Tag-o 日, 日中, 昼

昼, 日中約束をした大事件
今更ターゴ(違ふ)事は出来まい

Tajlor-o 仕立屋, 裁縫師

タ_イローロ(体老劣)かたい着物が苦しさに
仕立屋呼んで絹物を縫はす

Taks-i 評価す, 価をつける

審査員に書画をタ_クスイ(托し)おく時は
それ相当の評価するなり

Taksus-o 〔植〕水松_ス

水松をば我邸内に移植して
居タ_ク(宅)スーソ(数層)雅趣をば増しぬ

Takt-o (一)〔音〕拍子, 拍節, (二) 気転, 掛引, 手練

琴や三味, 風琴, オルガン, 鉦, 太鼓
タ_クト(叩く途)端に口拍子取る

Taktik-o 〔軍〕戦術, 兵法

戦術の最初はかタ_クティーコ(固く小_チこう)して
敵に油断をさせるが奥の手

Talent-o 才能, 才器

才能の世に勝れたる神人が
恵みの露を世にタ_レット(垂れんと)ぞする

Taler-o 独逸銀貨(三マルク)

月末に必ず貸した金タ_レーロ(取れど)
独逸銀貨で只の三マルク

Tali-o 腰

弱腰が痛むと言つて瑞月が
按摩ふタ_リーオ(二人を)雇ひ入れたり

Talisman-o 護符, 呪符_{マナフ}

肺病に彼女はあはれ罹りタ_リ(たり)
マ_ノノ(須磨の)別荘に養生為さしむ

Talk-o 〔鉱〕滑石

滑石を拾ひタ_クコ(たる児)が宝石の
やうに歓こび持ち廻るなり

Talmud-o ヘブライ法典

人道に背反しタ_ムムート(たる無道)をば
戒めてゐるヘブライ法典

Talp-o 〔動〕土竜_{モラチ}

土竜時を定めて田の畦を
持ち上げ来タ_ムポ(たる妨)害頻々

Tambur-o 太鼓

骨までも暖タ_ムブーロ(たむ風呂)の開業を
広告のため太鼓打ち廻はる

Tamburin-o 長太鼓, 鼓

長太鼓打タ_ムブリーノ(打たむ風_フ姿_サの)俄師が
鼓もろくに鳴らせぬ偽せ者

Tamen 〔副〕とは言ふものゝ、然し乍ら、それでも

吝_チ蓄_チな奴とは言ふものの淡泊で
思ふた程に金はタ_メメ_ン(貯めぬ)

Tamtam-o 銅_ド羅_ラ

銅羅打タ_ムターモ(打たむ誰も)寝てゐる
真夜中を、驚かせつつ変事報ぜむ

Tan-i 鞆_ヌす

奥山のターニ(谷)間に潜む狸獲り
首に巻かんと毛皮を鞆_ヌす

Tandem-o 二人乗自転車

二人乗自転車転覆怪我しタ_ンデー
モ(たんで最う)止めにして一人で乗る

Tangent-o 〔数〕切線, 正切_{ジツ}

タ_ンゲット(探源と)切線, 正切をエス語にて
称呼してゐる探源して見よ

Tanin-o 〔化〕タンニン酸, 皮渋
「**タニーノ**」は**タンニン酸**の名詞にて
エスペラントの称呼なりけり

Tapet-o 掛毛氈, 壁掛
掛毛氈送つて**タペート**(たべと)大和詞で
頼むは時代の錯誤なりけり

Tapiok-o タピオカ (一種の澱粉食料)
タピオカは一種の澱粉食料ぞ
エス語是を「**タピオーコ**」と曰ふ

Tapiŝ-o 敷物, 敷毛氈
東上の**タピーシ** (旅装) 束整ふた
汽車の敷物毛布忘れた

Tarantel-o タランテラ踊
タランテラ踊を見つ物**タラ** (足らぬ)
テーロ (程度) の我は心してゐる

Tarantul-o 一種の毒蜘蛛
物**タラントーロ** (足らぬ通路) を行きつ
毒蜘蛛の, 一種に逢ひて驚きにけり

Tarif-o 定価表, 税表, 料金表, 運賃表
千^テ五^タ百^ヒ秋^キ**タリーフ** (足穂) の稲の豊かにて
米の**定価表**日に日に下る

Tarok-o 一種のカルタ戯
衣食住に**タローコ** (足らふ子) 首を菟めつつ
一種の**カルタ戯**に日を暮すなり

Tas-o 茶碗, 珈琲茶碗
ターソ (誰そ) ある俄に來客お茶碗を
モウ五箇ばかり持ち運び來よ

Task-o 課業, 課程, 作業, 任務
百姓の初夏の**課業**は稻植うる
第一番に**タコ** (田鋤う) とする

Tatu-i 黥^シす
身は**タトゥーイ** (仮^カ令^レ) 遠流の処分に
会ふとても, 黥^シするは死ぬより辛^シい

Taŭg-i 適當す, 目的に適ふ, 間に合ふ
適當する帝都の復興案件を
タギ (討議) するかな額集めて

Tavol-o 層, 〔地〕地層
中天に突^ツ出^デ**タヴォーロ** (た望楼) 幾十層
昇りて見れば面白^シかな

Te-o 茶
楽隱居余りの暇に茶の湯習ひ
庭園内に茶**テオ** (亭) を造る

Teatr-o 劇場
劇場を立て**テアートロ** (て跡ぞ) 三五日
開業披露の宴会を催す

Ted-i うんざりさす, いやにならす
あは**テーディ** (周^シ章^シ爺^ヤ) 寝耳に時計の音を聞き
火事よと騒ぎうんざりさするも

Teg-i 被ふ, 蓋す, かぶせる
醜陋を被^フて互にいがみ合ふ
テーギ (帝議) で代議士味噌つける哉

Tegment-o 屋根
又しても風吹き**屋根**は飛び散りぬ
テグメント (手工面倒) と柿^{カキ}屋^ヤばやく

Tegol-o 屋根瓦
テゴーロ (手頃) の**屋根瓦**持ちて普請場に
注文取りに瓦商が来る

Teism-o 有神論
科学者の**テイモ** (亭主も) 漸く此頃は
有神論に心境変化せり

Teist-o 有神論者

無神論の**テイスト**(亭主と)有神論者とが
口角沫を飛ばせて論争する

Teknik-o 技術, 芸術

文明の**技術**, **芸術**発達し
テニニコ(低空に航)路を取れる飛行機

Teks-i 織る

綾錦**織**る姫神の**テス**(手奇しい)なる
その妙術に舌を捲くかな

Tekst-o 原文, 本文

テキスト(手具主統)と曰へる名詞は**原文**の
エスペラントの称呼なりけり

Telefon-o 電話, 電話器

青年が恋ふる婦人に**テレフォノ**(照れ頬の)
赤きを隠し**電話**にて曰ふ

Telegraf-o 電信, 電信機

電信はエスペラントの名詞にて
打**テレグラフ**(て令倶楽符応)と称呼するなり

Telegram-o 電報, 電文

電報はエスペラントの名詞にて
打**テレグラム**(て礼倶楽喪)と称呼するなり

Teler-o 皿

皿の様な眼で睨まれて人中で
甚ヒドクも**テレロ**(照れ狼)狼の体

Teleskop-o 天体望遠鏡

天体望遠鏡をば覗きつつ
テレスコポ(定例須高望)してゐる学者等

Tem-o 論題, 話題, 問題

テーマ(ても)扱も七六ヶしい**論題**を
卒業試験に出されたものかな

Temp-o 時, 時間

時により**時間**を伸ばす流行の
テポ(店舗)を夜警巡査が叱る

Temperament-o 生れつき, 気質, 体質

生れつき**テペラメント**(天鉄羅奴ン党)の
馬鹿息子, 悪魔の穴へ深はまりする

Temperatur-o 温度

春来れば**温度**日に日に高まり行く
テペラトローロ(天辺羅通路)に暖風涉りて

Tempi-o 〔解〕顛顛テンペイ

テピーオ(貞無非違汚)悔悟なせよと
顛顛に, 力を入れて意見する母ハ親ハ

Templ-o 神殿, 寺院, 殿堂

神殿や**寺院**に詣で後ゴ世セ祈る
テムプロ(停務富老)の楽隠居かな

Ten-i 〔一〕手に持つ, 把持す. 〔二〕支ふ, 支持す, 保持す.

〔一〕保つ, 置く
有り**テーニ**(態に)白状いたせ其方が
手に持つ品は盗んだ物だらう

Tend-o 天幕, テント

テッド(天道)を恐れて空に**天幕**を
張りまはしつゝ酒宴を催す

Tenden-o 〔解〕筋根テンデン

テデーノ(各自の)身を強壯に保つものは
第一**筋根**を大切にする

Tendenc-o 〔哲〕〔文学〕傾向, 風潮, 趨勢

五大教**テンデツォ**(天伝通)の神法は
鎮魂帰神の**傾向**ぞあり

Teni-o 〔動〕蠅虫テンイ

蠅医者の**テニーオ**(手に負)えない**蠅虫**
石榴根皮を吞んで退治す

Tenor-o 〔音〕次中音, 次中音唱歌者
テノ—ロい(手緩い)次中音のみ聞えてる
音楽師匠眠つて居るのか

Tent-i 誘惑す, 教唆す
テッティ(天地)にも愧ぢぬ人をば誘惑する
醜^しの曲^き津^つの恐ろしきかな

Teokrati-o 神権政治
惟神神権政治を強張し, テオ^ラティ—オ
(帝王位地位を)万世に立つ国

Teolog-o 神学者
蜚^ひ界のテオ^ろ—ゴ(帝王老後)發起して
世界に無比の神学者となる

Teologi-o 神学
神学を学ぶテオ^ろギー—オ(帝王露義王)が
十字架負ひて異域に亡命

Teorem-o 定理
テオ^{レー}モ(帝王礼も)我神国は昔より
定理となれるうましき生く国

Teori-o 理論, 学理
理論上テオ^{リー}—オ(手織を)堅固と称すれど
矢張輕快な機械織好む

Ter-o (一) 地球, (二) 地, 陸地, 土地, (三) 土
大地球, 陸地の限り世を救ふ
弥^き勒^りの王のテ—ロ(帝路)踏み行く

Terapi-o 〔医〕治療法
治療法をエスペラントの名詞にて
セラピー—オ(手良非異汚)と称呼するなり

Teras-o (一) 高台, 台地, (二) 土壇, 露台
海面をテラ—ソ(照らそ)として高台に
照燈台を建つる技師かな

Tercet-o 〔音〕三拍子, 〔詩〕三句押韻
日月星三拍子揃ひ大空に
テルツェ—ト(照る通榮燈)の光さやけし

Terebint-o 〔化〕テレピン
テレピンを「テレピント」と称呼して
エスペラントの名詞に加ふ

Teritori-o 領土, 管区, 地域
我領土, 地域を犯し敵軍は, 山野に充テリ(てり)
トリー—オ(土理を)知らぬにあらねど

Termin-o 〔語〕術語, 語辞, 名辞
術語をば学習せんと秋の月, テルミー—ノ
(照る三井の)僧に師事する語学者

Termit-o 〔昆〕羽蟻, 白蟻
一分の身羽蟻と化して中空を
飛ぶ虫こそはテルミ—ト(照る身と)曰ふ

Termometr-o 寒暖計
寒暖計見れば慥かに空曇るも
テルモメ—ト(照るも見えとろ)其用意せよ

Tern-i 噓^うす
噓する大方彼は俺の事
悪く言ふテルニ(てるに)違ひあるまい

Terur-o 恐怖
墓の火をチラとながめて恐怖心
忽ち起りあはテル—ロ(てる老)僕

Testament-o 遺言, 遺言状
身の死後のテスタメント(手数掬めんと)
親父さんが, 遺言書いて遺子に与へる

Testik-o 〔解〕睪丸
睪丸の割去術こそえらいテス(手数)
ティ—コ(小^ここう)なつた後の容積

Testud-o 亀, 土亀属

亀彦が思はず井戸へ墜ちテストード(何ドうぞ)
助け上げんと臨議開会 (霊界物語参照)

Tetan-o 〔医〕破傷風, 強直病

熱したる鍋を握めば破傷風
わずらうものと思つテターノ(てたの)だ

Tetr-o 〔鳥〕松鷄マツトリの類

松鷄を生捕りするは困難だ
一層鉄砲で打つテートロ(て獲ろ)か

Tetra-o 〔鳥〕蝦夷山鷄エゾヤマトリ

たつて来テトラオ(て虎を)驚かす不思議さよ
蝦夷山鷄の小さき鳥が

Tez-o 学説, 論文 (学位論文など)

学説や学位の論文書いテーズ(てぞ)
博士を得んと昼夜勤しむ

Tia 〔相〕斯かる, 斯様なる, 其の如き

斯かる世に生れ来りティーア(てあ)な憂やと
思はで頼め穴太アナタ観音

Tial 〔相〕故に, それ故に

優れたるティーアア(智有る)故に世の中の
愚者より却つて批難せらるゝ

Tiam 〔相〕其時に, 然る時は

米騒動おつ初まつたその時に
つかまへられてティーアア(治安)妨害

Tiar-o 三重冠 (法皇の)

法皇の三重の冠華やかに
ティーアアロ(地位天路)の光かゞやく

Tibi-o 〔解〕脛骨

坂道に倒れて脛骨挫挫いたか
向脛からティビーオ(血靡を)出す

Tie 〔相〕そこに

それそこに大の火鉢が出してある
直ぐにこティーエエ(此方へ)運び来れよ

Tiel 〔相〕その様に, そういふ風に

その様に運動しても代議士の
ティーエエ(地位得る)事は到底出来まい

Ties 其人の, 其物の

其人のティーエエ(地位良し)人格其物の
価値十分と世評は高し

Tif-o 〔医〕窒扶斯チフス

ティーフフ(地方)的伝染病と恐おそはがつて
窒扶斯予防に全力を尽す

Tigr-o 虎

朝鮮の名物虎は簀スティーロ(千ぐる)
中に潜みて動物を喰ふ

Tikl-i 握グる, ぐちる

ティーリリ(チクリ)と握グる様に攻められて
嫁は秘密を自白するなり

Tili-o 〔動〕菩提樹, しなのき

菩提樹の下にテリリオ(智理を)説き諭す
聖者の御名は今に轟く

Tim-i 怖る, びくびくす, 危ながる

西洋の人は肉体のティミミ(血見)れば
泣声あげて怖るなりけり

Timian-o 〔植〕たちじやかうさう, 木立百里香

ティミミアーノ(血見彼の)たちじやかうさうは
エス語にて, 名詞となして称呼するなり

Timon-o 梶棒, 轆カ棒

ティモモノ(小牛の)曳くべき大八車ダハには
細き梶棒附けておくなり

Tindr-o 燧, 艾^チ

ティンドロ(チンドロ)と鉦や太鼓で燧石と
艾の広告が市中をねり行く

Tine-o 〔昆〕穀蛾

ティネーオ(地い根を)下ろした青田の稲の木に
穀蛾の巣くふ忌しきかな

Tink-o 鯉の類

ティンコ(小んこ)い髯の生えたる魚捕つた
何か知らねど鯉の類だらう

Tinktur-o 染料, 丁幾^{チキ}

染料や丁幾を売つてる薬店の
主人のティンクトーロ(低軀頭顱)兀げ居り

Tint-i チンと鳴る, チリンと響く

「ホイト」坊がティンティ(チンチ)ンと鳴るりんを
手に持ち門に立ちて経読む

Tio 〔相〕それ

大学を卒業したる学士等は
それ相当のティーオ(地位を)得て居る

Tiom 〔相〕それだけ(分量)

ティーオム(地温)がそれだけ分量あるならば
掘れば必ず温泉が湧くだろ

Tip-o 型^カ, 典型, 例, 様式

ティーポ(ちっぽ)けな豆人形の型を彫り
糊口をしのぐ小さき人間

Tipografi-o 活版印刷術

「ティポグラフィオ」は活版印刷術の
エスペラントの名詞なりけり

Tir-i 引く, 挽く, 曳く

ティーリ(地理)学の研究せんと学生が
著名書肆より地図を引くなり

Tiran-o 暴君, 压制者

あティラーノ(あちらの)国には往々暴君が
あらはれ出て民を苦しむ

Titan-o 〔神話〕チタン神族, 強大漢

一心に天ティターノ(地類)む民草は
神話に出でしチタン神族

Titol-o 〔一〕表題, 題号, 書名, 〔二〕称号, 尊称

演劇の表題見ればティトーロ(地頭老)農
年貢争ふ悲劇なりけり

Tiu 〔相〕その, その人, それ

その人のそのティーウ(忠)告が気に入らぬ
俺はこちらの人に従ふ

Tog-o 長衣, 外袍(古羅馬の)

古羅馬の長衣と外袍を宗教家が
見て意気トーゴ(投合)するといふなり

Tol-o 麻布

神殿に仕へ奉れるトーロ(当路)者は
麻布の浄衣を常用するなり

Toler-i 堪ふ, 忍ぶ, 我慢す, 恕す

万難に堪ふてふ貴の御柱
瑞^ミの御魂^ミの名誉をトレーリ(取れり)

Tomat-o 赤茄子, トマト

赤茄子, 胡瓜, 南瓜とひとマートめ(一纏め)
一荷となして市に売り行く

Tomb-o 墓

墓標し見れば「転テコ天居士」と
気楽トムボ(とん坊)の死者の贈名

Tombak-o 独逸黄銅, 和蘭黄銅

独逸及び和蘭黄銅を購入し
七^シトムバーコ(噸箱)に納めてぞ置く

- Ton-o** (一)[音]調音, 楽音, 音色, 調子
(二)[画]色合, 色調, (三)[文]語調
相当の代価を以て購_レ入れた
小琴は相_トーノ(当の)調音が出る
- Tond-i** 剪_ハむ, 鋏にて切る
庭園の松の植木を木剪で
智慧の足らない_トンディ(鈍爺が)剪む
- Tondr-o** 雷
夕立の雨に伴ひ雷が
落つこち_トンドロトンドロと鳴る
- Tonsur-o** 剃髪(カトリック僧の)
カトリック僧の剃髪エス語にて
_トンスーロ(遁素老)と称呼するなり
- Topaz-o** 〔鉱〕黄玉
博奕打ち_トパーゾ(賭場ぞ)荒らされ黄玉の
家宝を泣き泣き人に売るなり
- Topografi-o** 地形学
地形学を「_トポラフィーオ」とエス語言ふ
〔土方具良富意応〕の心なるらむ
- Torê-o** 炬火_ヲ
夏祭り大炬火をかざしつゝ
行列作り_トルチュ(通る町)内
- Tord-i** ねちる, 撚る, 綯_ハふ, 捩る
幼な児の手をねちる様な高歩貸し
家具家財まで全部_ヲトルディ(取る爺)
- Toreador-o** 闘牛士
闘牛士が_トレアドーロ(土泥亜道路)を
避け乍ら, 牛曳きて行く雨後の街道
- Torent-o** 急流, 奔湍
急流で無ければ鮎は_トレット(取れんと)て
水_ヲ垢_ニに滑つて生命を取らる

- Torf-o** 泥炭
泥炭を_トルフォ(採_ト掘_ハ法_ヲ)知らぬ素人が
下手ばかりして工賃に倒る
- Torn-i** 〔工〕旋盤にかける, 轆_ヲ轡_ニにて挽く
雷管の錆皮_トルニ(取るに)必要な
機械求めて旋盤にかける
- Tornistr-o** 背囊
敵城を_トルニス_ハロ(奪るに須徒勞)な背囊を
しばしおろして突貫をする
- Torped-o** (一)水雷, 魚形水雷, (二)〔魚〕電気鱒_ニ
水雷を淵に投げ込み川魚を
沢山に_トルペード(取る嘔_ハ吐_ハ)の出る程
- Tors-o** 胴体像(トルソー)
胴体像を今から写真に_トルソ(撮るさう)なから
すつかり塵を払つて用意せよ
- Tort-o** 一種の饅頭様の食物, タート
饅頭様の一種の食物腹中に
_トルト(採ると)忽ち布袋とぞなる
- Tost-o** 乾杯の辞
この席は是にて終り_トスト(とすと)言ひて
乾杯の辞を宣ぶる主会者
- Tra** 〔前〕通して, 貫きて, 中_ヲに
赤_ヲ心_ヲを_トラぬ(貫)き通して道のため
世のため尽す人ぞ尊き
- Trab-o** 角材, 梁
か_ハラーボ(桂棒)造らんものと角材を
四ツに割つて鉋をかける
- Tradici-o** 伝説, 口碑
伝説は_トラディツィーオ(通良実地を)誤らず
書きのこしたる書_ヲ物_ハは稀なり

Traduk-i 翻訳す

洋籍を翻訳すべく学、ラ(党等)
ドラーキ(動機)を求めて筆を執るかな

Traf-i 中^アてる、中^アたる、命中す、的中す

空気銃上手に中てる客が来て
実に、ラーフィ(辛い)と射的屋悔む

Trafik-o 交通、運輸

交通と運輸便利の世の中に
トラフィーコ(銅羅吹子)の必要はない

Tragedi-o 悲劇

取り上げ婆、ラゲディーオ(取り上げ爺を)
警官が、墮胎の罪で縛る悲劇見る

Tragik-a 悲惨な、悲壮な

悲壮なるよ、ラギーカ(虎に噛)まれて若者が
朝鮮深山で悲惨なる最期

Tragikomedi-o 悲喜劇

年老いて歩行も、ラギコメディーオ(辛き
ハ^ア十八^メ爺を)、主人公とした悲喜劇流行る

Trahe-o 〔解〕気管

トラケーオ(通羅系を)気管と称し大気をば
呼吸の要具と神の賜物

Trajt-o 顔貌^{カタチ}、目鼻だち、面差^{サマ}

色街の勤めが、ライト(辛いと)顔貌
までもゆがめる俄の娼婦

Trakt-i 論ず、述ぶ、議す

トラクティ(辛くて)厭と言ふのか娼婦の身
論ずる迄も無く勤め奉公

Traktat-o (一) 論文、(二) 協定書(外交上の)

蚊に食はれ論文作るは最^イと、ラ^ク(辛く)
タートへ(仮令)死すとも止めぬ鉄心

Tram-o 軌条^{レール}(凹溝レール)

軌条を外づれた汽車の転覆は、トラモ
(そらもう)極まつた成行きぢやないか

Tranê-i 切る

自警団滅多八幡に人を切る
トラチ(東乱地)の震災の跡

Trankvil-a 静なる、安らかなる、平穩なる

静なる松の梢に、ラッヴーら(吊らぬ首等)
かけて縊死をば装ふ盗賊

Trans 〔前〕彼方に、向ひがはに、越えて

彼方にも向ひ側にも陳列の
品、ラス(通覧す)勸商場の中

Transept-o 〔建〕外陣(教会)

教会の外陣の幕邪魔になる、直ぐに
ラッセツ(取らんせ不図)気が附いたから

Transit-o 〔商〕運送許可、通行許可、免税通過

「ラッスイート」と言へる名詞はエス語にて
運送許可の称呼とぞなる

Transitiv-a 〔文〕他動的の

他動的の文を、ラッスイティーヴ(取らんせ
爺婆の)、如うな腰ぬけ学者が言ふてる

Trapez-o 〔幾〕梯形、プランコ

梯形、プランコしてる幼^ナ児^ノの、足ラペーズ
(捉らべいぞ)危ぶない危ぶない

Tre 〔副〕甚だ

トレ(通例)の罪とは甚だ趣きが
違つて居るなり神殿破壊者

Tref-o クラブ(トランプの)

トランプのクラブへ通ふ蛸坊主
トレフ(通例法)衣も質に置いてる

Trem-i 慄ふ, 震ふ

慄ふとも身は身で、**レーミ**(通れ身)も魂も裸体で生れし人の身なれば

Tremol-o 〔植〕はこやなぎ

はこやなぎ**レモーロ**(採れ耄老)とエス語にて名詞となして称呼するなり

Tremp-i 浸す, 漬く, 濡らす

地の上を泥に**浸する**世が来とも
レムピ(通例夢寐)にも知らぬ世の中

Tren-i 曳きずる, 曳く

松島を通れば妙な婆の声
お客を**レーニ**(連れに)**曳きずる**曳子

Trezor-o 財宝, 宝物

大家族**レゾーロ**(連れぞろ)ぞろと花の頃
財宝豊かな人の上京

Tri 〔数〕三

三たびまで首を**トリ**(吊り)死のうとして抱き止められた恋の狂乱

Tribun-o (一)[史]護民官(羅馬の)

(二)講台, 演壇, 監督席)

溝渠をば**リブーノ**(通利分農)救はんとつくす羅馬の**護民官**人

Tribunal-o 判事席, 法廷, 裁判所

法廷の**判事席**をば見渡せば
リブナーロ(痛史部並)ぶ厳しき顔

Tribut-o 貢税, 貢

貢税を納むる場所は**トリブート**(通利部と)聞いて驚き後すぎりする

Trifoli-o 〔植〕オランダげんげ

美はしき**オランダげんげ**エス語にて「**トリフーリオ**」と称呼するなり

Trigonometri-o 〔数〕三角法

養子**リゴノメトリーオ**(取り後の娶りを)急いでる, 一人も子の無き老夫婦が

Trik-i 編む(編針にて)

編針で**編む**毛糸の巾着は
風**トリキ**よ(通り清)き容**器**となる

Trikot-o 編物, 莫大小モコウ

古の**トリコート**(通り質素)な**編物**や
莫大小用ゆる**経済家庭**

Tril-o 〔音〕顫音

顫音はエスペラントの名詞にて
トリーロ(通利路)と称呼するなり

Trink-i 飲む

五大教数多の信徒あつまりて
トリキ(通輪器)もて神饌酒を**飲む**

Trip-o 臓腑, 腸(獣などの)

獣などの**臓腑**をエスペラントにて
トリポ(通利房)と称呼するなり

Tritik-o 〔植〕小麦

初夏の野辺**リデーコ**(通り小こ)い
穂を眺め, 百姓に問へば**小麦**なりと言ふ

Triumf-i 凱旋す, 勝ちほこる

戦勝の將軍堂々**凱旋す**
トリウムフィ(登竜門扉)開く吉日

Trivial-a 平凡の, 通俗の, ぞんざいの

平凡の教の中に殊更に
トリヴィアーラ(通理美意現)はるゝもの也

Tro 〔副〕あまりに

自動車をして電車に乗つて行く
あまりに**トロ**(通路)悪しきが故に

Trofe-o 戦利品, 優勝記念品

戦利品, 優勝記念品の添へものに

敵の_トロフエーオ(泥兵を)世話させられる

Trog-o 槽_ヲ, 刳鉢_{ハツ}(牛馬に飲ひ又漆喰を練りなどする)

酒槽の香をかきながら車曳き

飲めぬは_トローゴ(辛う御)座ると歎く

Tromb-o 竜巻_{リョウマキ}

天上に_トロムボ(通路運法)ありと見え

竜巻おこして竜の上天

Trombon-o 一種の喇叭

田に落ちた_トロムボノ(泥ン棒の)物品を

調べて見れば一種の喇叭なり

Tromp-i 欺く, 瞞す

世の中を欺く偽_マの救世主

_トロムビ(痛論批)難されて苦しむ

Tron-o 玉座, 帝位, 王位

神殿の玉座に玉照彦の神 (霊界物語参照)

_トローノ(通路の)傍に出遊ありけり

Trop-o 〔修〕転義, 譬喩

転義, 譬喩並べて修身教員が

_トローボ(盗坊)の非事を説明して居る

Tropik-o 〔一〕〔天〕回帰線, 〔二〕熱帯

回帰線, 熱帯名詞エス語にて

_トロビーコ(通路日願)と称呼するなり

Trot-i 速歩_{ハヤアシ}にて歩む(馬にいふ)

馬に乗り速歩にて歩む時は

_トローティか(通路近)く覚ゆなりけり

Trotuar-o 人道(街路の), 歩道

人道を歩めば左側に限るぞよと

_トロトッアーロ(通路と在る)と巡査が叫ぶ

Trov-i 見出す, 見付ける, ……と気付く

曆書をば展いて魔神の_トローヴィ(通路日)

見出す御幣かつぎの爺さん

Tru-o 穴, 孔

穴(あな)たふと亀と_トルーオ(鶴を)あしらいて

尉と姥との高砂島台

Trud-i 差出る, 出しやばる, 干涉す

何時までも長生をする_トルーディ(鶴爺)

口のみ達者で良くも差出る

Truf-o 〔植〕松露の類

松露の類_トルーフ(採る法)空兵衛に尋ねれば

只うつむいて探せと教ゆる

Trul-o 饅頭_{マンドウ}

焼饅頭を当てるが如くなやみつゝ

御国に尽す_トルーロ(鶴老)教祖

Trumpet-o 喇叭(軍用の)

軍用の喇叭をエスペラントにて

_トルムペート(鶴兵と)称呼するなり

Trunk-o 〔一〕樹幹, 〔二〕軀幹, 胴, 〔三〕本体

_トルッコ(鶴公)が松の樹幹に綱かけて

首くゝらんとするぞ可笑しき(霊界物語参照)

Trup-o 〔劇〕一座(俳優の)

俳優の一座の面をながむれば

鳩ボツポーや_トルーボ(鶴ボ)ツポー

Trust-o 企業者同盟(トスト)

_トルスト(党ト流ト統ト頭ト)は企業者同盟成立の

「トラスト」てうエス語なりけり

Trut-o 〔魚〕鱒_{マス}, 鮎_{アサギ}

九月廿日過ぎてから鮎_トルート(漁ると)

京都府令で罰せられ鱒(ます)

Tualet-o (一) 化粧, 身じまひ, (二) 化粧台, 鏡台
化粧トッアレート(通あれと)是とを比較して
 日本一のハイカラとなる

Tub-o 管, 筒, 〔砲〕門管
トッーボ(壺)から濁酒を盗み飲まんとて
 そつと**管**をば突込んで見る

Tuber-o 〔植〕球根, 塊茎, 〔解〕瘤, 突起
 球根のある植物は臭ひ高く
トッペルーロ(とべら)の如き感じするなり

Tuberkul-o 〔医〕結節, 結核
 結節や結核病者が雨の道, ずるずる
トッペルクーロ(滑る苦労)して行く

Tuberkuloz-o 〔医〕結核病
 結核病人雨後行くな道路を, **トッペルクローゾ**
 (滑る苦労ぞ)気をつけなさい

Tuf-o 総ト(草, 羽毛などの一束)
 草又は羽毛の束で総作り
 高所で**トッーフ**(通報)事務を取るなり

Tuj 〔副〕直ちに, 今すぐに, 即刻
 靈感と智慧ある人は五大教
 趣旨も**直ちにトッ**(通意)するなり

Tuk-o 布ツ
 現代の外科医は傷者の療治術に
 滅多八幡に**布**を**トッーコ**(使ふ)

Tul-o 絹網(婦人の用ふる), 網布
 洋ヲ妾メが絹網被ぶり堂々と
 市中**トッーロ**(通路)を濶歩するなり

Tulip-o 〔植〕チューリップ, 鬱金香
 チューリップ薫る畠に乙女子が
 蜻蛉を**トッリーボ**(釣りボ)コポコ遊ぶ

Tumult-o 騒動, どさくさ
 主義者をば沢山にあ**トッム。ト**(集むると)
 忽ちに, 大騒動の起るものなり

Tunel-o トンネル
 トンネルの名詞はエスペラント語で
トッネーロ(通寧路)と称呼するなり

Tunik-o 下着(古羅馬の)
トッニーコ(通に凝)つた下着ぢやないか
 古羅馬の, 服に似てゐる良く似合ひます

Tur-o 塔
 生計が幾ナ何ナ**トッーロ**(辛う)ても祖先の為
 塔婆に金を費す子孫

Turb-o 独楽トル, 〔動〕さゞえ
 独楽舞はし唐傘の上で曲芸して
 石に躓き**トッルボ**(つるば)んと滑りこけたり

Turban-o 捲頭巾(土耳其人の)
 土耳其人の捲頭布をばエス語にて
トッルバーノ(土耳婆囊)と称呼するなり

Turbin-o 〔機〕タービン
トッルビーノ(釣瓶の)綱断れ忽ち井戸の
 底へ, 落ちて水面〔タービン〕と響く

Turd-o 〔鳥〕つぐみ
トッルドも(鶴共)の声聞きつけて震ひつゝ
 雪積む野辺に啼く**つぐみ**かな

Turism-o 漫遊, 遊歴
 力士等が**トッリ。モ**(通り角力)を取りながら
 世界を漫遊, 遊歴してゐる

Turist-o 漫遊者, 観光客
 漫遊者世界各国巡覧し
 各地の地理に**トッリ。スト**(通理総人)となる

- Turkis-o 〔鉞〕土耳其玉
 土耳其玉エスペラントの名詞には
 トゥルキーン(土耳其基礎)と称呼するなり
- Turment-i 苦しめる, 虐める, 悩ます
 トゥルメンティ(鶴面血)誰の鉄砲に中たりしか
 松の梢に苦しめる田鶴
- Turn-i 廻はす, 廻転せしむ
 夜の道トゥルニ(通るに)無灯燈陰吞と
 注意書廻はす道普請かな
- Turnir-o 仕合^{シイ}, 擬戦
 仕合, 擬戦してトゥルニーロ(通るに路)銀が
 必要と, 木戸銭取つて興行してゐる
- Turt-o 〔鳥〕雉鳩^{キバ}
 古の綾部をトゥルト(通ると)雉鳩が
 空を塞いで飛び廻り居し
- Tus-i 咳^キをす
 夜トゥースィ(通し)寝ずに話して風を引き
 性^ク質^チの良くない咳をするなり
- Tuŝ-i 触る, 接触す, 論及す, 感動せしむ
 饑助が不善事ばかりやりトゥーシ(通し)
 遂に国法に触るゝ憐れさ
- Tut-a 全部の, 全体の
 一部分なるかと人にトゥータ(問ふた)れば
 いらないな全部の改造だと言ふ

U

- U 〔語尾〕動詞命令法の語尾
 エス文法命令法の語尾に附く
 動詞(どうし)ても「ウ」は尻のものなり

- Uj- 〔接尾〕容器, 国, 樹を示す
 接尾して容器や国や樹等を
 示す詞をウィ(有為)と言ふなり
- Ukaz-o 勅命(露帝の)
 露西亜皇帝の勅命ウカーゾ(うかつと)
 聞いてゐた, ために国家を亡ぼさせたり
- Ul- 〔接尾〕其性質又は其事に係る人を示す
 エス語をば最完全に話しウ。(得る)
 人を称してエスペランチストと言ふ
- Ulan-o 槍騎兵
 槍騎兵がウラーノ(裏の)小山に終日を
 演習して居る喇叭が聞こゆる
- Ulcer-o 〔医〕潰瘍
 妙薬をウツェーロ(売る潰えろう)と潰瘍の
 薬の広告声ばかりなり
- Ulm-o 〔植〕にれ
 にれの木はいと珍しき材なれば
 如何程高価でもウモ(売る物)でない
- Uln-o オース, エル, (反物を度る尺度, 国に)
 ヤール (より一定せず約3,4尺)
 オース, エル, ヤール(与る)ウノ(売るの)
 何の彼のと, 反物度る約三四尺
- Ultimat-o 最後の通牒
 弓射会の今日の最後の通牒は
 ウティマート(漆的)を射当てたといふ
- Um- 〔接尾〕意義不定
 ウム(有無)と言ふ返辞を聞けばもどかしい
 意義不定なる接尾語なりせば
- Umbilik-o (一)〔解〕脐, (二)〔植〕種脐
 腹下だりウムビリーコ(ウーン, ビリーコ)
 と鶴^ニの鳥, 谷渡る声雪隠の中

Unc-o (一) オンス(重量), (二) 埃及銀貨の名
重量が余りに多き千**オンス**
ウツォ〔運(送)通応〕店も損害をばやく

Ung-o 爪
夜祭り意中の人に爪(抓)られて
神の**ウゴ**(運護)と歎ぶ青年

Uniform-o 制服, 軍服, 官服
宣伝使その制服は汚るとも
弊履のや**ウニフォルモ**(様に放るもの)のはなし

Unik-a 唯一の, 無比の
天下無比の, 唯一の美味よ名物の
ウニーカ(海栗か)と首をかたむけて見る

Unison-o 〔音〕同音, 斉唱
偉らき**ウニソーノ**(うに僧の)後から
法華信者, 異口同音に経を轉ずる

Univers-o 宇宙, 万有, 森羅万象
宇宙また万有をエスペラントにて
ウニヴェルソ(有二栄流僧)と円く称呼す

Universal-a 普遍の, 万国的
大本は普辺の教理水のや**ウニ**(うに)
ヴェルサーら(殖ゑる更)に万国的に発展す

Universitat-o 大学, 綜合大学
大学の名詞はエスペラントにて
「**ウニヴェルスタート**」と称呼するなり

Unu 〔数〕一ツ
ウヌばれ(自惚れ)の一つなるべし朝夕に
鏡に向ふ若き男子は

Ur-o 〔動〕一種の野牛
荒野原トボトボ行けば**ウーロ**(ウロ)ウロと
一種の野牛枯草かぶる

Uragan-o 暴風雨, あらし
ウラガーノ(浦賀の)港に着いた黒船に
暴風雨よりも驚かされてける

Urb-o 市, 都会
魚市場立出で店をながむれば
盛んに**ウルボ**(売る棒)鱈の市かな

Urg-i 至急を要す, 緊急なり, 差掛りてあり
震災を予知し高価に**ウルヂ**(売る地)面
至急を要すと周章狼狽

Urin-o 〔生理〕小便, 尿
夏の朝肥料取男がやつて来て
ウリーノ(瓜)の代りに小便持ち帰る

Urn-o (一)甕, 壺, 古代の水汲鉢
(二)骨壺, 屍灰甕, (三)投票入れ
此の甕と壺とは古備前家の宝
ウルノ(売るの)は惜しいと貧乏爺言ふ

Urogalo 〔鳥〕大松鷄マサギ
エス語にて大松鷄の名詞をば
ウロガーロ(洞があらう)と称呼するなり

Urs-o 〔動〕熊
竹熊の玉奪り計画**ウルソ**(五月蠅)うて
竜宮の神使持て余すなり(霊界物語参照)

Urtik-o 〔植〕蕁麻ムラサキ
蕁麻のやうに厭がる男*の臭い, **ウルティーコ**と
(うるさい事)だと泣きつゝ逃ぐる

-Us 〔接尾〕動詞假定法の語尾
両親の定めて呉れた女房は
假定(かて)て加へて石**ウス**(臼)の尻

Uter-o 〔解〕子宮
今迄と打つて変つたこの子宮
児では無いかと**ウテロ**(有亭娘)が言ふ

- Util-a 有用なる, 有益なる
 有用なる役員信者は**ウティー**ら(内裏)の
 御用を頼むと取締が言ふ
- Utopi-o 理想郷, 実現すべからざる空想
 新しき村は誠の**理想郷**
ウトピーオ(疎び男)の子の住む所^ゴでなし
- Uvertur-o 〔音〕開幕楽(歌劇の)
 開幕の樂声を聞き周^ス章^ヲ出し
 滑^ス**ウヴェ**ルト^{エル}ー^ロ(べる通路)倒れつゝ行く
- Uz-i 用ふ, 使ふ, 利用す
ウズィ(蛆)虫の様なガラクタ男でも
 また**用**ふべき時が来るだろ
- Uzur-o 高利, 暴利
ウズー^ロ(ウズラ)を飼はんと思ひ高利貸に
 暴利取られて破産する農夫
- Uzurp-i 横領す, 篡奪す, 僭取す
ウズル^ピ(珍^ルビー)指輪にはめた宝石を
 婦^メ女^メ欺して横領する奴

V

- Vad-i 徒涉^{ワツ}す
ヴァー^{ディ}(婆^{ディ}爺)が夏の干川を徒涉して
 川の真中で腰たゝいてる
- Vafl-o 〔果〕ワッフル
 菓子の名は英語の**ワッフル**エス語にて
 「**ヴァ**ー^ッろ」とこそ称呼するなり
- Vag-i 徨^ワふ, うろつく, 漂泊す, 放浪す
 公園の逃げ**ヴァ**ー^ギ(場^ギぎ)しぎし押合ふて
 罹災者右往左往に徨^フふ

- Vagon-o 車輛(汽車, 電車などの)
 汽車, 電車などの車輛は**ヴァ**ー^ゴノ(馬後の)
 車に比して進行迅速
- Vak-i 空^アいてゐる, 曠^ク缺^クす
 空^アいてゐる流^リ行^キらぬ芝居の棧敷をば
ヴァー^キ(場^キ空^キ)とエスペラント曰ふなり
- Vakcini-o 〔植〕越橘^{ツミ}
ヴァッ^ツニ^ニー^オ(博^ツ奕^ニに大)負けをして
 たゝかれて, よい越橘^{ツミ}と人に笑はる
- Vaks-o 蠟, 蜜蠟
 蠟のやうな滑かなる**ヴァ**ッ^ソ(婆^ソ糞)を
 ニューニューとこく野中の雪隠で
- Val-o 谷, 谿
 山奥の谷のせまつた綾部でも
 俺の行て住む**ヴァ**ー^ロ(場^ロあらう)と思ふ
- Valid-a 有効の, 効力ある
 眼病に最も効力あるものは
 有効の請合ひ鶯の**ヴァ**ー^リー^ダ(尿^ダだ)
- Valiz-o 手提鞆
 別嬪が側に居るので汽車の上
 そつと**ヴァ**ー^リー^ゾ(小^リ便^ゾぞ)手提鞆にする
- Valor-o 価値
 価値のなき下^タらぬ教をする婆々と
 素気なく追**ヴァ**ー^ロノ(払^ロふ狼)虎連中
- Vals-o ワルツ舞踏, ワルツ曲
 おしなべて**ワルツ**舞踏をする人は
 何時も世人に威**ヴァ**ー^ソ(張^ソる相)格^ヲ
- Vampir-o (一)吸血鬼(夜間墓より出でて人の
 血を吸ふと言へる), (二)動^ク大蝙蝠
 夜半頃墓より出でて人の血を, 吸ふ
 吸血鬼を**ヴァ**ー^ピー^ロ(晩^ピ非^ロ異^ロ狼)と言ふ

- Van-a 空しき、無益の、無効の、だめの
心まで空しきお里の寝入ヴァーナ(ばな)
おこすは無益の殺生ぞかし
- Vanel-o 〔鳥〕鳧^フの類
見物に好いヴァネーロ(場狙う)て席を鳥(取り)
最も高き料金取られ鳧(けり)
- Vang-o 頬
点検の声に一二三四五六と
ヴァンゴ(番号)呼んで頬横向けの
- Vanil-o バニラ(蘭科植物にして香料となる)
香料となる蘭科植物バニラをば
「ヴァニエーロ」とエス語曰ふなり
- Vant-a (一)果なき、空しき、あだな、つまらぬ
(二)自慢する、生意気の、きざの、虚飾の
ヴァンタ(番太)奴が果なき人を罪にして
敏腕家ぞと自慢するなり
- Vapor-o 蒸気、湯気
禿げ頭蒸気をたてゝ爺とヴァ(婆)
ポーロ(ポーロ)ポーロと汗の玉飛ぶ
- Var-o 商品
遙ヴァーロ(ばる)と行商人が国遠く
仕入れの商品売りあるくなり
- Varb-i 募集す、召集す、徵募す、勧誘す
尻捲りきヴァルビ(ばる、ビー)と音がする
糞蠅の類数多募集す
- Vari-i 変ず、変動す
ヴァリーイ(巴里)では相場の変動する故に
安心ならず倫敦に行く
- Variant-o 異文、異本、〔数〕変数
異本、異文潜に読める折もあれ
人來にければヴァリアント(破り行燈)の側

- Variol-o 〔医〕天然痘、痘瘡
天然痘だと判つたら警察が
うるさい暫時気ヴァリオーロ(張り居る)ぞ
- Varm-a 暖かき、温暖の、熱心なる
寒さをば気ヴァルマ(張る間)も無く暖かき
春開けて花の世となる
- Vart-i 子供の世話をす、もりす、育てる
あとさきに心を配^ツヴァルティ(ばる爺)さんが
杖つきながら子供の世話をす
- Vasal-o 臣、家来、家臣
馬鹿殿が臣下に向ひ尖り声
そのヴァサーロ(場去る)と家来を睨む
- Vast-a 広大なる、広潤なる
広大なるヴァスタ(場すた)るかと案じたら
復興院がうまく行^ハりそうだ
- Vat-o 填絮^{ワタ}、中綿^{ワタ}
填絮を百貫目積んで見れば
座敷一面広いヴァート(場と)る
- Vaz-o 甕、瓶、鉢、甕、容器^ワ
怒るたび水甕や瓶を投げ砕く
嫁に毒性なヴァーゾ(婆ぞ)憎らし^ゾ
- Vazelin-o ワセリン
ヴァゼリーノ(混りの)無い上等のワセリンを
売る薬店は繁昌して居る
- Ve 〔間投〕悲哀^{ガハ}、苦痛、落胆等を表はす語
悲哀と苦痛、落胆等の際は
どんな人でもヴェ(べ)そをかなり
- Veget-i (一)生存す(植物的に)、
(二)つまらなく暮す、くすぶる
ヴェゲーティ(無榮下智位)世に生存するを
知られずに、日蔭にあつてつまらなく暮す

Vegetar-a 菜食の

菜食の効果はしるく**ヴェゲターラ**(米饌俵)
一割余り余計に食ふなり

Vejn-o (一)〔解〕静脈,

(二)脈(葉脈, 翅脈, 鉾脈), 木理, 石理
酒呑や助**ヴェイノ**(平の)静脈硬化して
生命危く溢血をする

Vek-i 目を覚まさせ, 呼び覚ます

目を覚まさせ**ヴェーキ**(べき)時とはなりに
けり, 普通選挙の唱へらるる世は

Vekt-o 秤秤, 天秤棒, 〔幾〕通動機

秤秤いと厳格に調査をば
遂行す**ヴェクト**(べくと)税務官曰ふ

Vel-o 帆

風は止み帆は**ヴェーロ**(ペーロ)ペロと力抜け
いと淋し気にへこ垂れて見ゆ

Velen-o (一)犢革, (二)犢皮紙(ベラム)

最後**ヴェレーノ**(屁例の)颯が放つたのか
犢の革の悪臭がする

Velk-i 凋む, 萎ぶ, 枯れる, 衰ふ, 褪色す

面の皮凋む齒抜けの婆さんは
固い食物喰**ヴェキ**(べる気)が無い

Velociped-o 自転車

自転車はエスペラントの名詞にて
「**ヴェーロツィペード**」と称呼するなり

Velur-o 天鵝絨

天鵝絨の襟をかけたる花車婆は
下らぬ言を喋舌**ヴェーロ**(べる老)人

Ven-i 来る

蝙蝠の霊魂が彼に憑いたのか
いつも**タヴェーニ**(べに)行つて来るなり

Vend-i 売る, 販売す

弓の絃矢を**売る**武徳会員は
古き**ヴェンディ**(武縁で)得意が殖える

Vendred-o 金曜日

金曜日をエスペラントの名詞では
ヴェンドレード(弁当礼三)と称呼するなり

Venen-o 毒, 毒物

毒物の這入った様な最後**ヴェ**(屁)
ネーノ(姉の)顔まで青く気の毒

Veng-i 復讐す, 怨を報ず

無罪をば証拠揃へてよく**ヴェンチ**(弁じ)
誣告人等に復讐するなり

Venk-i 勝つ

重患者病魔に打ち**勝つ**妙法は
床の**ヴェンキ**(便器)を棄つるにありけり

Vent-o 風

帆前船そよそよと吹く軟風を
航海上の**ヴェント**(便と)するなり

Ventol-i 風を通す, 換気す

日本建大窓あけて**風を通す**
衛生上にも**ヴェントーリ**(便と利)あり

Ventr-o 腹

食物を腹に貯へまた下^ダだす
エス語は之を**ヴェントロ**(弁当籠)と言ふ

Ver-a 真実の, 真正の

ヴェーラ(べら)べらと囁^ソずる下女は**真実**の
主人に報告せぬものと知れ

Verand-o 〔建〕下屋廊下^{カサナ}, 椽側

下屋廊下, 椽側などに寝そべつて
天声社員エス**ヴェランド**(ペラント)読む

Verb-o 〔文〕動詞

良く喋舌^ヲヴ^{エル}ボ(べる坊)主の読経聞く時は
動詞(どうし)ても蟬と疑はれける

Verben-o 〔植〕馬鞭草^{マゼン}, 美女桜

馬鞭草^{マゼン}エスペラントの名詞にて
ヴ^{エル}ベーノ(秘^ヒ露^ロ平野)と称呼するなり

Verd-a 緑色の

緑色の星の徽章をぶらさげて
喋^{エル}ヴ^{エル}ダン(べる男)子をエスチストと曰ふ

Verdigr-o 〔化〕緑青^{リシツ}

名画師の用ゆる緑青^{リシツ}絵の具をば
ヴ^{エル}デーグロ(平流地黒)と称呼するなり

Verdikt-o 〔法〕判決

弁護士はべらべら喋^{エル}ヴ^{エル}ディクト(べる熟^{ジュク}と)
考へ判官判決を下す

Verg-o 〔一〕枝条, 〔二〕筈, 竿, 棒, 杖, 〔機〕桿

薪刈がくヴ^{エル}ゴ(べるご)もくを枝条また
筈を以て差し集むなり

Verk-i 〔一〕著作す, 著述す, 〔二〕作る, 製作す, 細工す

火の中へくヴ^{エル}キ(べる気)持で敵党の
著作する書を買収せんとす

Verm-o 虫, 蛆(細長くして這ふ虫の概称)

蚯蚓^{セリ}虫, 蛆^{シラ}や尺^{シク}蠅^{ショ}這ふ虫は
身体長く延ヴ^{エル}モの(べる者)なり

Vermičel-o 伊太利素麵

白髭をもんで伊太利素麵と
滑稽喋^{エル}ヴ^{エル}ミチエーロ(べる美智慧老翁)かな

Vermut-o ベルモツト酒

ベルモツト沢山呑めば足ふらつき
ヴ^{エル}ムート(舌むと)して吐き出しさうなり

Vers-o 詩句(詩の一行)

一行の詩句をばエスペラントにて
ヴ^{エル}ソ(美^ミ素)とぞ称呼するなり

Verst-o 露西亞の里程(約十町)

露西亞里程約十町をエス語にて
ヴ^{エル}スト(兵留西東)と称呼するなり

Verš-i 注ぐ, 流す, こぼす

肝腎の秘密を喋^{エル}ヴ^{エル}シロ(べる代)物に
意を注ぐ可く監視するなり

Vert-o 〔解〕頭頂

燕雀の如くベラベラ喋^{エル}ヴ^{エル}ト^ン(べる頓)馬
頭頂が痛む側に居る身は

Vertebr-o 〔解〕椎骨, 背椎

背推, 椎骨のゆがみを治療せんとして
患者を延ヴ^{エル}テー^ャロ(べるテーブル)の上

Vertikal-a 垂直の, 鉛直の, 堅の

君側にはヴ^{エル}(侍る)ティカー^ラ(力)あるものは
皆垂直の糸のたましい

Veruk-o 〔医〕疣, 疣贅

疣蛙捕へて焼いて食ヴ^{エル}ルー^コ(べる子)は
脾疳の病わづらふて居る

Verv-o 気のり, 熱情, 奇想

ヴ^{エル}ヴ^{エル}オ(舌^シ棒)を盛に動かす熱情と
奇想の浮んで気のりのした時

Vesp-o 〔昆〕胡蜂^{マダ}, 細腰蜂

胡蜂がヴ^{エル}エ^スボ(ベース)ボールを行^ツつて居る
学生の頭刺して逃げ行く

Vesper-o 夕, 晩

夕, 晩になればエスペランチスト
ボーナ「ヴ^{エル}エ^スペー^ロ」と挨拶をする

Vespert-o 〔動〕蝙蝠

泣き^ゑ **ヴェス**(恵比須) **ペルト**(ペリッと)蝙蝠の
傘破り、涙の雨を流してぞ居る

Vest-i 衣服を着^スす

立派なる衣服を着する嬢さんが
^ゑ **ヴェス** **ティ**(蛭^ス市)にて万引をする

Vestibl-o 〔一〕玄関、入口の廊下、〔二〕解前庭、前房

玄関を昇れば書生の喋舌 **ヴェス**(蛭^ス子^ス)
ティ **ー** **ろ**(卓子)にもたれ轉つて居る

Vešt-o チョツキ

チヨツキ着て眼をむき腰を振る男、滑稽好みの
チャリ **ヴェ** **シュ** **ト**(蛭^ス子^スと)曰ふ

Vet-o 賭^ル、賭事

負けてからも一度賭をやろうかと
言へば相手は **ヴェ** **ー** **ト**(ペーと)赤眼むく

Veter-o 天気、天候

今日こそはどうやら**天気**になりそうだ
昼間ゆう **ヴェ** **テ** **ー** **ロ**(べ照ろう)と思ふ

Veteran-o 〔一〕老兵、帰休兵、〔二〕老功者、老練家、元老

秋の夕 **ヴェ** **テ** **ラ** **ー** **ノ**(ベ寺の)門に**老兵**が
銃剣杖とし立つて経読む

Veterinar-o 獣医

獣医をばエスペラントの名詞には
ヴェ **テ** **リ** **ナ** **ー** **ロ**(屁出入那老)と称呼するなり

Vetur-i 往く(車、船などにて)、旅す

船、車などにて別れ往く人を
ヴェ **ト** **ー** **リ**(別離)の涙送りけるかな

Vezik-o 〔解〕膀胱

膀胱は小便袋 **ヴェ** **ズ** **ー** **コ**(便随脆)と
エス語の名詞は称呼するなり

Vezir-o 土耳其の大臣

ヴェズ **ー** **ロ**(武栄瑞偉老)是は土耳其の大臣よ
戦で国をトルコの大將

Vi 〔代〕汝、あなた、汝等あなたがた

八日 **ヴィ**(日)に汝を連れて宇治町の
あなた祭りに参らうと思ふ

Viadukt-o 陸橋、棧^サ、高架橋

ヴィ **ア** **ッ** **ト**(美亜船渠^サ戸)は陸橋、棧、高架橋よ
エス語は之を用語と為すなり

Viand-o 肉(食用の)、鳥獣肉

食用の牛肉なればあたらない
ヴィ **ア** **ン** **ド**(汝^サ安堵)して喰てくれ玉へ

Vibr-i 振動す、顫動す

地震にて **ヴィ** **ー** **リ**(ビーブリ)ブリと振動する
家の内にてビリビリ震ふ

Viburn-o 〔植〕がまずみ属

秋風にびい **ヴィ** **ブ** **ル** **ノ**(びい風流野)震ひつゝ
がまずみの属淋しく招く

Vic-o 列、順番、列次

膳列のその順番に飯 **ヴィ** **ー** **ツ** **ヲ**(櫃を)
配つて運ぶ日本の料理

Vid-i 見る

ヴィ **ー** **ディ**(美事)のみを見る真人はおしなべて
神に叶へる有徳者なりけり

Vidv-o 鰥夫^{キョ}

ヴィ **ド** **ヴ** **ヲ**(卑道坊)は鰥夫も同じ境遇ぞと
思うて居たら大黒が居た

Vigl-a 生氣ある、覚めたる、油断なき、活氣ある

生氣ある人は勤勉強ければ
遂には広き **ヴィ** **ー** **ラ**(美庫)建てる

Vikari-o 〔宗〕副司教
カトリック司教の強き蔭**ヴィカリーオ**(光りを)
受けて働く副司教かな

Viktim-o 犠牲, 犠牲者
ヴィクティモ(尼丘地位も)宗教宣布の犠牲ぞと
思はば楽しき法界なりけり

Vil-o 氈毛, 絨毛, 〔解〕絨毛
だだ**ヴィーロ**(広)い胃腑の中にも細やかな
氈毛など多く生ふるものなり

Vilaĝ-o 村, 田舎
新しき村を尋ねて来て見れば
花を欺く**ヴィラーヂョ**(美良嬢)居る

Vin-o 葡萄酒, 酒
休み**ヴィーノ**(日の)今日の祝ひに酒を飲み
葡萄酒買って友垣と呑む

Vinagr-o 醋, 酢
味噌につけ酢につけ小言吐かす奴は
こらしめのため素く**ヴィナーッロ**(香擲ろ)

Vind-i 纏ふ, 巻く, 襦袢^{ヌイ}に包む
つゞれ衣その身に纏ふ老乞食
子供笑つて**ヴィンディ**(貧爺)と曰ふ

Vinjet-o 唐草飾(頭文字, 見出し又は表紙などの)
頭文字見出し又は表紙などの
唐草飾**ヴィンジェット**(便絵と)曰ふ

Vink-o 〔植〕雁来紅
風吹けば**ヴィンコ**(ピンコ)ピンコと雁来紅が
頭ふりつゝ茶人を招く

Vintr-o 冬
冬の日鉄**ヴィントロ**(瓶と炉)が生命と
隠居が賞めて永き夜明かす

Viol-o 〔植〕堇菜^{フナソウ}, 堇色
花堇菜紫色に咲き匂ふ
優**ヴィオーロ**(美往路)の側に茂れる

Violon-o 〔音〕バイオリン
バイオリンエスペラントの名詞には
「**ヴィオーロノ**」と称呼するなり

Violonĉel-o 〔音〕セロ, 低音バイオリン
弾琴を**セロ**(せよ)と主人の言附に
「**ヴィオーロチェーロ**」を弾く女房かな

Vip-o 鞭
瘠馬の**ヴィーボ**(微歩)乗馬師もどかしと
馬腹に鞭を中てゝ走らす

Viper-o (Vipur-o) 〔動〕蝮蛇^{ヘビ}, 毒蛇
人を噛む蝮蛇と言へる悪いへ**ヴィ**(蛇)
ペーロ(蔽路)に潜む熱帯の夏

Vir-o 男, 雄, 男子, 牡
魂^{タマシ}の雄々しき男を尊称して
皆**ヴィーロ**(美郎)と呼んで居るなり

Virg-a 童貞の, 未通^{マヅコ}の
童貞の清き身魂も何時となく
髭の延**ヴィルガ**(びるが)まゝに悪化す

Virt-o 徳, 徳義心
葡萄酒と**ヴィルト**(ビールと)飲んで比ぶれば
矢張り麦酒が安くて徳(得)なり

Virtuoz-o 達人(特に音楽の), 名人
医術のみか音楽上の達人は
ヴィルトゥオーゾ(ベルツ翁ぞ)第一人者

Visk-o 槲寄生^{キナンド}属, 寄生木
ぬ**ヴィスコ**(蛭子講)福を祝うて寄生木を
神の御前に樹^ツつる商人

Viski-o ウイスキー

ウイスキーを「ヴィスキーオ」と称へつつ
酔つたる人の如くに称呼す

Vist-o 一種の骨牌戯

勝ち負けを争ふ一種の骨牌戯の
遊ヴィスト(びすと)窺ふスパイ

Viš-i 拭ふ

借金の尻をヴィーシ(ビシ)ビン父親が
拭うて我子の極道を悔む

Vitr-o 硝子、玻璃

硝子の戸内から見れば透き徹り
外から見ればかすみ帯ヴィートロ(びとり)

Vitriol-o (一) 硫酸, (二) 礬類(硫酸塩)

硫酸を紙^{ワシ}に浸し青年が
鏡の前でニキヴィリオーろ(ビ取り居る)

Viv-i 生活す, 生存す, 暮す, 世渡りす

浮雲の富貴の夢も醒め果てゝ
九尺二間でヴィーヴィ(微々)たる生活す

Viz-o 査証, 検印

是こそは極致のヴィーゾ(美衣ぞ)と査証はり
検印押して呉服屋が売る

Vizağ-o 顔

顔最^トもヴィザーヂョ(美ザ嬢)さん気取りして
器量自慢で鏡に向ふ

Vizier-o 臉甲(兜の), 眼底^{ミツ}

ヴィズィエーロ(武威瑞栄老)八幡太郎の軍功は
兜の臉甲に輝き渡る

Vizit-i 訪ふ, 訪問す, 見に行く

村に名の高き孝子を訪ふ記者が
ヴィズィーテ(美事知)悉して新聞に出す

Voč-o (一) 声, (二) 発言, 投票

破鐘のやうな声をば議事堂で
ヴォーチョ(傍聴)して居る田吾作紳士

Voj-o 道路, 道

これヴォーヨ(坊よ)こちらで遊べ道路上は
諸車の通行で危険至極だ

Vojağ-o 旅行, 漫遊

ヴォヤーヂョ(坊や嬢)を連れて旅行に出る時は
何に付けても心赦せぬ

Vok-i 呼ぶ

明細帳解し兼ねたる老人が
実否調べんとヴォーキ(簿記)呼ぶなり

Vokal-o 母音, 母音字

エス語学母音をヴォカール(母家呂)と言ふ
言^{コト}盡^{ツク}数多生み出す音韻

Vokativ-o 呼格

ヴォカティーヴォ(防火低帽)冠りて消防隊員が
火事場で人をば呼格高し

Vol-i 欲す, せんと思ふ

震災でヴォーリ(暴利)を欲する材木商
あと付けねらふスパイ忙がし

Volont-e 悦んで, 望んで, 快く, 容易に

買ひおきし建築材料悦んで, 高価に
飛び行くヴォーロ^テ(ぼろうて)たまらぬ

Volum-o 巻(書籍の), 冊

一巻の書籍も読まずさヴォー一モの(ぼる者)は
試験の時に眼の玉をむく

Volumen-o 体積

体積がいくら在つても下等品, 客をだまして
ヴォーメーノ(ぼるまいの)うやい

Volupt-o 肉体的快樂，淫樂

職業をさ**ヴォ**ル**ット**(怠慢の不当)の賃金を
奪りて**肉体的快樂**に耽る

Volv-i 卷く，捲きつける

雨は**ヴォ**ル**ヴィ**(漏るビイ)ビイ風は吹き**卷**くる
どうして冬の夜をば明さむ

Vom-i 嘔吐す

茸の傘上に窪**ヴォー**ミ(ほみ)し物喰へば
毒に中てられ直ちに**嘔吐**す

Vort-o 語，辞

エスペラント言語を教へ示さんと
ヴォルト(黑板)に講師横文字を書く

Vost-o 尾

太陽が西に**ヴォ**スト(没すと)尻に**尾**の
ある連中の世の中となる

Vual-o (一) ベール，面衣，(二) 被，帳，幕

鈴の様に喋**ヴァ**ール(べる)女の唇の
厚さは殆んど五六**ヴァー**ろ(分あらう)

Vulgar-a 通俗の，俚俗の，卑近の

伶俐**ヴァ**ガーラ(振る柄)では無い**通俗**の
人の所謂猪口才子のみ

Vulkan-o 火山

龜か**ヴァ**カーノ(被るかの)火山の草木は
烏羽玉の夜の黒くなりぬる

Vulp-o 〔動〕狐

野狐が里の雞くはえつゝ
尾を**ヴァ**ボ(振る棒)の様なるものを

Vultur-o 〔鳥〕兀鷹ハタゲ

兀鷹の名詞はエスペラントにて
ヴァト**ー**ロ(古燈籠)と称呼するなり

Vund-i 傷つく，負傷さす

負け軍サ味方**傷**つく悲しさに
ヴディ(分時)も早く退却せんとす

Z

Zebr-o 〔動〕斑驢ゼブ

斑驢の名詞はエスペラントにて
ゼーロ(税無驢)とぞ称呼するなり

Zefir-o 和風，軟風

山の田のあ**ゼ**フ**ー**ロ(畦広)く吾行けば
和風，**軟風**匂ふ春の日

Zenit-o (一) 〔天〕天頂，(二) 頂点，絶頂

今の世の人は**ゼ**ニ**ー**ト(錢と)美メ女メとを
得るを**天頂**の理想とぞする

Zibel-o (一) 〔動〕黒貂ゼイ，(二) 黒貂皮

黒貂が社に住んで懸額の
文**ズイ**ペーろ(字ペーろ)と噛み破りけり

Zigzag-o 雁木形，鋸齒状

雁木形エスペラントの名詞には
ズイザーゴ(随具雑具翁)と称呼するなり

Zingibr-o 〔植〕生姜ジンギ

生姜をば刻み浴湯に打ち込んで
病者治癒を**ズイ**ギ**ー**ロ(仁義風呂)と曰ふ

Zink-o 〔化〕亜鉛

ズイコ(沈香)も焚かず屁も放ぬ不精者を
亜鉛の様なまくら男と言ふ

Zizel-o 〔動〕金花鼠ジゼル

高価なる**金花鼠**を飼ふある**ズイ**(主メ人メ)
ゼーろく(贅六)野郎と世人が罵る

Zodiak-o 〔天〕獣帯，黄道帯

獣帯はエスペラントの名詞にて

ゾディアーク(袖合公)と称呼するなり

Zon-o 〔帯〕，〔幾〕球面帯，〔地〕地帯，地域

その様な長い帯をば何にする

ゾーノ(象の)妊娠に用ふる為か

Zoolog-o 動物学者

私は動物学者にてゾオローゴ(侯御)

指導仰ぐと馬(うま)い挨拶

Zoologi-o 動物学

動物学エスペラントの名詞には

ゾオロジーオ(象狼義意応)と称呼するなり

Zorg-i 世話す，注意す，心配す，面倒を見る，後見す

卒中でふんゾルギ(ぞる義)母を抱きかゝへ

一心不乱に世話する孝子

Zuav-o アルゼリヤの歩兵

ズアーヴォ(図阿房)はアルゼリヤの歩兵てふ

エスペラントの名詞なりけり

Zum-i 鳴る，うなる(蜂，蠅などの羽音を言ふ)

蜂，蠅のうなる響や鳴る音は

家の隅ズーミ(隅)までも聞ゆる

— (完) —



瑞 月

国と人の差別も立てず天の下に

開き行かなん英^イ西^シ仏^フ埃^エ蘭^{ラン}統^ト語

甲子の初春清き大空の

緑の色を心ともがな

(附 録)

接頭辞の部

bo- 婚姻関係

「ボ」と言へば坊にも通じ房に通じ

婚姻によりて女房(ボ)とぞなる

dis- 分散

財産はこれかぎりディス(です)と発表し

家資分散の厄に逢ひぬる

ek- 開始

皇神は五^イ六^ロ七^クの世をば開始せんと

エ^エ(永^エ苦^ク)を嘗めつゝ在しましけり

eks- 元，前

元，前を「エクス」と言ふは腹の児の

前より生まるエクス(抱^エ苦^ク巢^ス)元宮

ge- 男女両性

ゲ(解)せぬのは男女両性の動物ぞ

ゲ(実^ゲ)に不思議なは男女関係

mal- 反対

何事によらず言^マ霊^ル反対詞

〇^ル〇^ル〇^ルの「マ^ル」反対ぞ憂き

pra- 時間的に遠き意

avo(阿呆)男之を称して粗夫(祖父)といふ

天^ラ(英羅)附けば祖祖父(曾祖父)praavoぞ

re- 復，帰

レ(礼)物を受けたる時は忽ちに

復珍物を返す人情

vic- 次位，副

ヴィッ(不一)とは次の位よ〔レーヂ^ス〕は王

vicrego〔ヴィッレーヂ^ス〕は是は副王

接尾辞の部

-aĉ- 罵称

ア^チへ行けと infano〔インファノ〕を罵称して
infanaĉo〔インファナーチョ〕を餓鬼と言ふなり

-ad- 動作の連続

ア^ド(あど)気なく話す paroli〔パローリ〕連続の
演説之を parolado〔パロラード〕と言ふ

-aj- 事, 物

食ふ mangi (饅頭)ア^ツ(味)良ふつけた食物を
mangajo と唱ふなりけり

-an- 一員

ア^ン(彼の)一員は klubo〔クラブ〕の人と聞く
からは, klubano〔クラブナーノ〕と称ふべきなり

-ar- 集団

世を救ふ目的かゝへし信徒^トの
アル(或る)集団を大本と言ふ

-ĉj- 男子愛称

「^チイ」さなる Tarô (太郎)は殊に可愛いもの
「^チイ」(乳)が付き添ひ Taĉjo〔ターチョ〕と言ふ

-ebl- 可能

可能(蚊の)害を防がんために草の葉を
エ^{ブル}(煙^スぶる)田舎の静なるかな

-ec- 性質

性質の良いボーナ(坊な)が生れしと, geedzoj
〔ゲエドゾイ〕(両親)はエ^ツ(悦)に入りつゝ

-eg- 強大

強大なエ^グ(えぐ)い怪獣モールバンド
アマゾン河の水底に住む

-ej- 場所

エ^イ(良い)場所に〔れ^ルネーヨ〕(学校)が建つて居る
広く事物を〔れ^ルニ〕(学ぶ)にぞよし

-em- 傾向

喋々とバビリーリ(喋る)ホーモ(人)はオーニ
(世人)の, エ^ム(忌む)傾向のあるものぞかし

-er- 原子個体

エルサレム宮を毀した枉^ツ津^ツ神の
原子個体は野倒れ死にせり

-et- 弱小

弱小な淤^ス能^ネ基^キ呂^ロ島をエ^ト(胞^スと)なして
豊草原の国を生ぜり

-id- 仔, 幼者

幼^イき者はおイ^ド(臀)や仔^ツ々(小^ス便^ス)の世話
kokido〔コキード〕(雛)の如かゝるものなり

-ig- となす(他動)

他動的にイ^グ(異愚)となす台湾生蕃も
仁義道德弁まへ居るなり

-iĝ- となる(自動)

イ^チ(意地)悪き奴となると自動的に
自己愛のみを考へて居る

-il- 器具

新世帯まづ第一にイ^ス(要る)器具は
夜具にかまどに手桶に杓子

-in- 女性

言の葉の尾にイン(陰)の語のつく時は
女性^ニの称と覚るべきなり

-ind- 価値

釈迦の法^ニ早や末法となり果てゝ
インド(印度)の価値も安くなりけり

-ing- 挿入具

イン(印具)とは**挿入具**なり〔カンデーロ〕(蠟燭)
 挿入具は〔カンデリッゴ〕(燭台)

-ist- 従事者

銀行の業務に**従事する者**は
 イスト(椅子と)卓子よりなりけり

-nj- 女子愛称

「ニイ」(兄)さんと跡慕ひ来る花子をば、**愛称**
 なして〔ハーニョ〕(花ちゃん)と言ふ

-obl- 倍数

倍数の報酬受けて犬の如く
 傭夫よろこびオッ(尾振る)可愛さ

-on- 分数

オ(斧)振り**分散**したる割薪の
 二分の一を duono〔ドッオーノ〕と言ふ

-op- 集合数

金もうけありとし聞けば我一に
 他におくれじにオ(汚夫)**集合数**(す)

-uj- 容器, 国, 樹

ウイ(愛い)奴は**国**にも**樹**にも**容器**にも
 皆使はれるものところぞ知れ

-ul- 者

ウ(売る)**者**は何もなけれど我家は
 優しい娘や〔ユヌーロ〕(若**者**)あるなり

-um- 意義不定

ウ(有無)なぞと**意義不定**なる言霊に
 ウ(うん)と首をば振り兼ねるなり

— 附録終 —

記憶便法

エス和作歌辞典

大正13年2月4日 初版発行
 昭和8年8月3日 第3版発行
 昭和46年8月7日 第4版発行

著者 出口王仁三郎

発行者 土居重夫

印刷所 K.K. 天声社

発行所 天声社

〒621 亀岡市天恩郷

エスペラント普及会

〒621 亀岡市天恩郷

定価 800 円 〒110 円